

③ メインプログラム

1	ワールドバザール	日 時：平成23年10月13日（木）～16日（日） 10：00～21：00 （13日のみ12：00～21：00） 場 所：沖縄セルラースタジアム那覇周辺広場 概 要：世界の物産展とともに大会参加国の料理が楽しめるコーナーを設ける。
2	チャンプルー交流祭	日 時：平成23年10月14日（金）～16日（日） 場 所：沖縄セルラースタジアム那覇 概 要：世界各国の芸能、沖縄の伝統芸能、エイサー等のステージイベントを実施する。
3	グローバル次世代プロジェクト／ワールド・ウチナーシンポジウム	日 時：平成23年10月14日（金）・15日（土） 場 所：沖縄コンベンションセンター 会議棟 概 要：ウチナーネットワークの担い手となる次世代の育成を図るとともに、国際社会における沖縄及び世界の県系人の果たす役割などこれからのウチナーネットワークのあるべき姿を探る。 海外・国内県人会長、民間大使、次世代等の県内参加者が一堂に介し、シンポジウム等を行う。
4	ワールドビジネスフェア	日 時：平成23年10月14日（金）・15日（土） 10：00～17：00 場 所：沖縄コンベンションセンター 会議棟 概 要：海外に根ざしてビジネスを展開している「世界のウチナーンチュ」の起業家とこれから世界に向けてビジネス展開を目指している沖縄のベンチャー企業や県外企業が、展示会やセミナーを通して相互に交流するビジネスマッチングを行う。
5	翔べ！ 尚巴志	日 時：平成23年10月15日（土） 昼13：00～ 夜18：00～ 場 所：沖縄コンベンションセンター 展示場 概 要：琉球三山統一という偉業を成し遂げ、「首里城」を建立したといわれる尚巴志(しょうはし)の史実をもとに、オーディションで選ばれた沖縄県内の中高生により上演される現代版組踊。万国津梁の鐘に刻まれた銘文は、尚巴志の子息・尚泰久王が建立したと言われている。
6	奉納演舞（武）	日 時：平成23年10月13日（木） 10：00～10：50 場 所：首里城公園 御庭 概 要：沖縄伝統空手道振興会との連携により、首里城正殿の御庭において、琉舞の重要無形文化財保持者や空手無形文化財保持者による奉納演舞（武）を行う。
7	舞への誘い・安全祈願	日 時：平成23年10月13日（木） 舞への誘い 11：30～16：40 14日（金） 舞への誘い 11：00～16：30 安全祈願 16：40～17：10 場 所：首里城公園 下之御庭 概 要：古典を中心とした演目を演舞。首里クェーナによる安全祈願で、旅の安全を祈願する。

8	世界のウチナーンチュ 世界・平和・未来展	日 時：平成23年10月13日（木） 12：00～21：00 14日（金）～16日（日） 10：00～21：00 場 所：沖縄セルラースタジアム那覇2階スタンド下 概 要：ウチナーンチュのアイデンティティーの次世代継承のため JICAとの連携により、県系人移民に関する資料展示や映像放映等を行う。
9	移民資料展	日 時：平成23年10月13日（木）～16日（日） 10：00～21：00 場 所：県立博物館・美術館 概 要：各国の移民史に関するパネル等を展示するほか、移民に関する話や暮らしぶりを紹介する。
10	空手道・古武道交流祭	日 時：平成23年10月14日（金）、15日（土） 9：00～17：00 場 所：県立武道館 概 要：世界各国及び県内外の空手愛好家の技術向上・人材育成とともに、交流親善を図る。
11	国際親善 ゲートボール大会	日 時：平成23年10月14日（金） 8：30～17：00 場 所：奥武山運動公園のびのび芝生広場 概 要：世代を超えて楽しめる生涯スポーツとして人気の高いスポーツレクリエーションを通して、大会参加者と県民相互の親睦を深める。
12	国際親善 フットサル大会	日 時：平成23年10月14日（金） 10：00～17：00 場 所：沖縄セルラーパーク那覇 概 要：これまでサッカーに親しんだことのない人も含め、より多くの人が国と世代を超えて親善を深める。 （フットサル：5人制のミニサッカー）

④ 連携イベントプログラム

1	世界エイサー大会（世界エイサー大会実行委員会事務局）	日 時：平成23年10月15日（土） 12：00～20：00 16日（日） 11：00～20：00 場 所：奥武山陸上競技場 概 要：世界各国から参加するウチナーンチュにエイサーの演舞を通じてウチナーンチュとしてのアイデンティティーを確認する契機とするだけでなく、世界エイサーとしての魅力を国内外に発信し、県民との交流を図る。
2	NIPPONIA ～世界に響むニッポンのうた、ウチナーのうた～	日 時：平成23年10月14日（金） 18：30～ 場 所：沖縄コンベンションセンター 劇場 概 要：県内外に有名なアーティストらが出演するコンサート。
3	琉球の風 琉球クリエイティブと琉球舞踊	日 時：平成23年10月15日（土） 17：00～ 場 所：沖縄コンベンションセンター 劇場 概 要：琉球舞踊をバレエにアレンジした琉球クリエイティブバレエと男性舞踊家による琉球舞踊の演舞。

4	「我々が住むは五大州」公演（国立劇場おきなわ自主企画）	日 時：平成23年10月15日（土） 18：30～ 16日（日） 14：00～ 場 所：国立劇場おきなわ 概 要：本大会に併せて来沖する海外県系人の伝統芸能継承者や、県内に滞在する伝統芸能継承者とのコラボレーションによる、古典音楽、琉球舞踊、民謡の公演。
5	NHKのど自慢（NHK沖縄放送局、那覇市主催）	日 時：予選 平成23年10月15日（土） 本選 16日（日） 12：15～13：00 場 所：那覇市民会館 概 要：海外でも親しまれている「NHKのど自慢」を「世界のウチナーンチュ大会」記念として大会最終日に公開生放送する。海外へも広く参加者を募り、大会を盛り上げる。
6	その他	第5回世界のウチナーンチュ大会に連動し、この大会を盛り上げ県民の幅広い参加・交流が図れるような内容を持った自主企画・連携イベントを一般より公募。



3 イベントの総括

(1) 成果目標

本大会の目的である「ウチナーネットワークを持続的な発展」及び「沖縄21世紀ビジョン」に謳われる「世界に開かれた交流と共生の島」の実現に資するため、各種イベントプログラムは、以下の点を成果目標として実施する。

- ① ウチナーネットワークの担い手として若い世代の認識が高まる。
- ② 世界のウチナーンチュ同士の絆が深まる。
- ③ 沖縄の魅力やブランド価値について理解が深まる。
- ④ ウチナーンチュとしてのアイデンティティの認識が高まる。
- ⑤ 世界に開かれた「共生」の促進に向け、新たなネットワークを広げる出発点となる。

(2) 内容

イベント成果目標に沿って、22のイベントを実施した。

今大会は、開会式及び閉会式初の屋外開催となった。開催期間中は、多少の雨もあったが、10月中旬の過ごしやすい季節の下、過去最多となる41万8千人もの人々が参加した。

イベント会場は、参加者・県民の利便性を考え沖縄セルラースタジアム那覇（那覇市）を中心に、沖縄コンベンションセンター（宜野湾市）、国立劇場おきなわ（浦添市）、首里城公園（那覇市）、沖縄県立博物館・美術館（那覇市）など、広域に分散しないよう那覇・中部圏にまとめた。

(3) 特徴

今大会のイベントの特徴としては、以下の点が挙げられる。

① 若者・学生事務局の発足

「グローバル次世代プロジェクト」では、平成23年3月からはじまったプレイベントでは、沖縄県内大学生を中心とした若者・学生事務局が発足し、本大会や移民の歴史について、同世代への周知を図り、ウチナーネットワークの継承、活用の重要性を若者自ら考えた。

14日の本開催では、世界9カ国の若い世代の参加者とともに「ウチナーグチ」「ウチナーネットワーク」「文化再創造」をテーマに、海外参加者と一緒に会議を行った。「ワールドユースウチナーンチュアソシエーション(WYUA)」が発足し、第6回大会に向け、年に1回各国もちまわりで若者ウチナーンチュ大会を開催することなどの提言がなされた。

② 次世代の育成

「県人会長・新ウチナー民間大使会議」では、ウチナーネットワークを担う次世代の人材育成について真剣に討議がなされ、「万国津梁基金（仮称）」創設の提言が行われた。

プレイベントとして平成23年2月から実施した「レッツスタディ！ ワールドウチナーンチュ事業」は、県内の児童生徒が海外に在住するウチナーンチュとの交流等をおして、異文化・多文化共生についての理解及びウチナーネットワークの認識を深める契機となった。

県内の小・中・高校を巻き込み今回始めて実施した同運動には、本島及び久米島、宮古、八重山の106の学校で約15,000人の児童・生徒が参加するなど離島を含めた全県的な広がりを見せた。

海外参加者との交流を通じて、夢を実現させる意欲を掻き立てられたり、海外へ目を向けるきっかけとなったようである。

③ ビジネスフェア

「ビジネスネットワークの発展に向けて」をテーマに開かれた「ビジネスシンポジウム」では、又吉真由美氏（えんグループ代表）の『沖縄の心を世界へ』と題した基調講演や『沖縄と海外のビジネス交流の展開について』をテーマにディスカッションを行った。

④ ウチナーアイデンティティの確認

琉球王朝のシンボルである首里城において、人間国宝や国指定無形文化財保持者による琉球舞踊や空手の奉納演舞、演武が行われた。

また、県立武道館では、空手道・古武道交流祭を開催し、約2,500名の国内外の空手愛好家が参加し、空手発祥の地沖縄で演武を行った。

⑤ メインステージ インターネットライブ配信

今大会初めて、開会式、閉会式・グラウンドフィ

ナーレ、チャンプルー交流祭の模様を、インターネットでライブ中継を行った。中継やアーカイブ視聴を含めると、延べ2万回以上再生されている。初の試みであったが、大会に参加することができなかった世界のウチナーンチュの方々にも、大会の臨場感を味わっていただけたと思う。

4 各プログラムの内容

(1) プレイベント

① レッツスタディ！ ワールドウチナーンチュ事業

ア 事業概要

県内の小学校・中学校・高等学校・大学の児童生徒が、沖縄移民の歴史や現況、そして大会参加国の文化・言葉・歴史について学ぶ。大会前は移民学習教材や出前授業等を通して、交流相手国の歴史や文化等について学習する。

大会期間中は海外から来沖したウチナーンチュが参加希望校を訪問し、県内の学生と交流を図る。

イ 事業目的

地域の国際化の推進及び国際化に対応し、ウチナーネットワークを担う次世代の育成に貢献することを目的として実施する。

ウ 推進体制

主 催：大会実行委員会
後 援：沖縄県・沖縄県教育委員会・沖縄県内各市町村
協 力：海外県人会、新ウチナー民間大使、県費留学生、国際交流団体
委託先：特定非営利活動法人沖縄NGOセンター（ONC）

エ 実施期間

平成23年2月3日～11月30日

オ 参加学校数

小学校	39校
中学校	19校
高等学校	37校
特別支援学校	3校

その他	6校
海外	2校
計	106校

約15,000名の児童生徒が参加。

カ 取組内容

事前学習

・自主学習

- (1) 移民の歴史や沖縄の多文化共生についての参加型の学習教材を活用して学習した。
- (2) 沖縄NGOセンター所蔵の各国の衣服や楽器等を借りて学習した。

・出前講座

パイロット校や要請のあった学校等に県交流推進課所属の国際交流員や県費留学生、県内国際交流団体、NGO団体等の講師を派遣し、移民の歴史や移住先での生活を学んだ。

プレ・イヤー（平成22年度）

- ・出前授業等の実施など教材学習や交流プログラムを通じた事前学習に取り組んだ。
- ・小規模告知イベント等を通じて、本プログラム及びウチナーンチュ大会の広報を行った。

大会年（平成23年度）

- ・事前学習を進めながら、マッチング相手の海外県人会の人々との手紙のやり取りなどの事前交流を実施した。

大会期間中及びその前後

- ・海外参加者の学校訪問
大会参加のため来沖した県系人が、交流相手校（母校、出身地域の学校など）を訪問し、移住の歴史や異国での生活などの話をしたり、生徒からの質問に答えたりとふれあい型の交流を行った。
- ・大会会場でブースを設置し、本事業全体の取り組みの報告、沖縄県民を含めた来場者が交流する場を提供した。

キ 事業の成果

(1) 全県的な取り組み

北は伊是名村の伊是名小学校から南は竹

富町の波照間中学校まで、本島及び離島の小・中・高・大学等106校が参加し、全県的な拡がりを見せた。

(2) 参加型教材の作成

a 移民教材の改訂

県内中・高校の教員や在沖・在外日系人、県費留学生、市町村研修生等の協力を得て、『CHAMPURREANDO～世界のウチナーンチュ発！ 多文化共生～』を作成。

写真や体験記、歌を使った教材、カードゲームなどを通じて、移民の歴史を外のウチナーンチュ暮らし、沖縄における多文化共生について楽しく学べる教材となった。

b 紙芝居、カルタの作成

紙芝居：戦後救援活動の一環でハワイから550頭のブタが送られてきた話を紙芝居にして、沖縄と海外に住むウチナーンチュとのつながりを学ぶことのできる内容とした。

カルタ：移民の歴史から現在の海外のウチナーンチュの様子が見えるような内容にした。日本語・英語版、日本語・スペイン語・ポルトガル語版の2種類を作成した。

(3) 世界のウチナーンチュとの繋がり

交流会では、海外参加者が母県とのつながりを強く認識するだけでなく、児童・生徒らに自身の経験等を話すことで、母県の人材育成に貢献することができた。また、交流相手校の児童・生徒らは、海外に関心を持ち、自身の夢に向かって取り組むことを意識したようであった。

(4) 学校独自の取り組み・成果

- ・小・中・高それぞれの過程において移民学習のカリキュラム化を行う教員が生まれた。
- ・市町村との各事業との連携により地域を巻き込み、学習に取り組んだ。
- ・大会前後に留まらず、学習発表会等で移民をテーマに劇を作る学校が出た。

② ジュニアスタディツアー

ア 日 時

平成23年8月2日(火)～8日(月)7日間

イ 場 所

沖縄本島

ウ 参加者数 50名

海外参加者：中・高校生の沖縄県系人子弟23名

県内参加者：沖縄県内の中高生24名
(中学生7名、高校生17名)

海外引率者：海外参加者の引率及び通訳業務3名

エ 目 的

海外の沖縄県系人子弟を招待し、県内の児童生徒とともに沖縄の歴史、文化、自然などの体験学習をとおして、母県・沖縄との絆を深めることにより、海外沖縄県系人社会の発展と将来のウチナーネットワークを担う人材の育成に貢献する。

オ 学習内容

ツアー期間中に台風が襲来し、予定していた北部での自然学習が中止になるなどプログラムの変更を余儀なくされたが、エイサー練習などホテルで共に過ごす時間が密になり、より絆が深まったようである。

(1) 歴史学習

首里城等の見学をとおして琉球王朝時代の歴史に関する理解を深めた。海外参加者のみならず、県内参加者も沖縄の歴史について学ぶことができた。

(2) 伝統工芸・芸能体験学習

紅型や首里織、琉球漆器などの伝統工芸や空手、エイサー、琉球舞踊などの伝統芸能を体験した。8月7日に那覇市国際通りで開催された一万人のエイサー踊り隊出場のため、ツアー期間中はエイサー練習に励んだ。本番当日はインターネット電話サービスを利用し、海外参加者の県人会から応援メッセージが送られたが、ツアー参加者は感動し涙を流す場面もあった。エイサー演舞は連日の練習成果が発揮され、海外参加者と県内参加者の息の合った演舞に沿道から多くの拍手が送られた。



③ 世界のウチナーンチュ ホームステイ
 (海外県系人子弟ホームステイ受入事業)
 ア 日時
 平成23年10月7日～17日 10泊11日

イ 場所
 沖縄本島内各地

ウ 参加者数 5名
 ブラジル 1人、ペルー 2人、
 ポリビア 1人、アメリカ 1人

エ プログラム

(1) 第5回世界のウチナーンチュ大会への参加
 前夜祭パレードや開・閉会式、国際親善
 フットサル大会などへ参加した。

(2) 自分のルーツ地域の散策
 参加者の両親や祖母らの出身市町村の
 交流会に参加し、自身のルーツを感じた。

(3) 沖縄文化体験
 那覇大綱挽への参加や三線やヤチムン体
 験、紅イモ染めなどをとおして沖縄文化を
 体験した。

また、ウチナーンチュ大会のイベントの
 ひとつである「琉舞・空手奉納演舞(武)」で、
 首里城にて国王・王妃の前で行われた人間
 国宝や無形文化財保持者らの琉球舞踊や空
 手を鑑賞した。

(4) 歴史・平和学習
 首里城や読谷村立歴史民族資料館などで

琉球王朝などの歴史を学んだ。
 また、平和祈念資料館や戦跡等を巡り、
 世界平和について考えた。

(5) 社会学習
 FM読谷への出演や紅イモ掘りを通じた
 体験学習。

(6) 家庭交流、その他
 ホームステイ先での交流。



(2) 大会式典

① 前夜祭パレード

ア 日時
 平成23年10月12日(水)
 式典 16:00～16:15
 パレード 16:15～18:00
 アトラクション 18:00～19:00

イ 会場
 那覇市国際通り
 集合: 壺屋小学校
 式典: さいおんスクエア
 アトラクション: パレット前広場

ウ 参加者数
 4,500名 (19カ国1地域)

エ 目的
 開会式を前日に控え、国内外の参加者が那
 覇市のメインストリートである国際通りを民
 族衣装や揃いの衣装でパレードし大会成功の
 機運を醸成するとともに、沿道で迎える県民
 との交流を深める。

オ 内容
 国際通りの街灯には大会バナーが掲げら
 れ、沿道には多くの県民が詰め掛け歓迎ム
 ードに包まれた。
 さいおんスクエアでの式典では、海外参加
 者を代表し、定子 与那覇 トゥーシー
 ニューヨーク沖縄県人会会長があいさつを行
 い、大会実行委員会会長の仲井真弘多県知事
 が歓迎のメッセージを述べた。
 式典後、県警音楽隊の先導でアメリカ合衆
 国を先頭に国内外の参加者4,500名によるパ
 レードがスタートした。さいおんスクエア前
 他4箇所演舞ポイントを設け、各国のダンス
 や楽器の演奏が行われた。途中、大雨に見
 舞われ、パレードが中断する場面もあった
 が、沿道に詰め掛けた観客は、各国の小旗を
 振って歓迎し、おかえりなさいと声をかける
 など熱烈な歓迎ぶり、偶然居合わせた観光
 客も拍手で迎えるなど、大会初日の熱気にあ
 ふれた。

■ 前夜祭パレード進行コース図(国際通り)



② 知事招宴

ア 日 時

平成23年10月13日（木） 19：00～21：00

イ 会 場

沖縄ハーバービューホテル クラウンプラザ
彩海の間

ウ 参加者数

550人

エ 目 的

本県の国際交流を推進し又は支援する関係機関の方々並びに移住先の国・地域と沖縄県相互の発展にご尽力された方々を招待し、これまでの御協力・御尽力に感謝するとともに、本県の国際交流事業に対する今後一層の理解と協力を得る場として開催した。

オ プログラム

- 18：00 開場、両副知事によるお出迎え
- 18：40 琉球交響楽団によるウェルカム演奏
- 19：00 開演
- 19：03 主催者代表挨拶
第5回世界のウチナーンチュ大会
実行委員会
会長 沖縄県知事 仲井眞 弘多
来賓挨拶
 - ・中華人民共和国福建省知事 宋克寧（代理：部長）
 - ・駐日ボリビア 多民族国大使館 特命全権大使 ルイス・マサハル・ヒガ・トミタ閣下
- 19：25 乾杯
ハワイ連合会会長 仲宗根 ノーマン 正明
- 19：30 歓迎の舞（人間国宝・重要無形文化財琉球舞踊保持者による）
かぎやで風
- 20：15 Hawaii ゲストアトラクション
- 20：30 歓迎アトラクション 鼓衆 若太陽
- 20：40 中締め
第5回世界のウチナーンチュ大会
実行員会
副会長 沖縄県副知事 上原 良幸

カ 内 容

招宴には、在日ヴェネズエラ・ボリヴァル共和国大使館 特命全権大使 セイコウ・ルイス・イシカワ・コバヤシ閣下、在日ボリビア共和国大使館特命全権大使 ルイス・マサハル・ヒガ・トミタ閣下をはじめ、海外から県人会長、新ウチナー民間大使など、国内・県内からは各市町村長、県選出国会議員をはじめ多くの方々に参加いただき交流を深めた。

③ 開会式

ア 日 時

平成23年10月13日（木） 17：00～20：00

イ 会 場

沖縄セルラースタジアム那覇

ウ 参加者数

約20,000名

エ 目 的

大会初、県民も一緒に大会参加者を歓迎し、第5回世界のウチナーンチュ大会の開会宣言と開催意義をアピールする。

オ プログラム

- 15：00 受付・開場
- 17：00 司会進行役登場
- 17：06 黙 禱
- 17：08 オープニング
第1回大会から第4回大会を編集したオープニング映像
natchyによる大会テーマソングの披露
- 17：22 参加国・地域紹介
- 17：28 県旗・大会旗掲揚
- 17：33 開会宣言
第5回世界のウチナーンチュ大会
実行委員会副会長
沖縄県副知事 上原 良幸
- 17：39 特別招待者紹介
駐日ボリビア 多民族国大使館
特命全権大使
ルイス・マサハル・ヒガ・トミタ閣下
- 17：45 主催者挨拶（大会会長）
第5回世界のウチナーンチュ大会
実行委員会 会長
沖縄県知事 仲井眞 弘多

17：51 歓迎の挨拶

第5回世界のウチナーンチュ大会
実行委員会副会長
沖縄県会議長 高嶺 善伸

17：57 来賓祝辞

ニール・アバクロンビー アメリカ
合衆国ハワイ州知事

18：04 海外からのメッセージ

ブラジル連邦共和国
アンドレ・プシネリ マットグ
ロッシ州知事

18：10 海外県人会長紹介

18：14 海外功労者紹介

18：29 次世代代表紹介

18：38 新ウチナー民間大使紹介

18：48 スペシャル・ライブ
古謝美佐子によるスペシャルライブ
「家路」「移民小唄」「アメイジング
グレイス」「童神」

19：15 世界一斉エイサーページェント

19：39 閉式のことば

第5回世界のウチナーンチュ大会
実行委員会副会長
沖縄県副知事 与世田 兼稔

19：44 エンディング～退 場

カ 司会進行

ジェームス天願、具志堅アメリア

キ 内 容

24カ国3地域及び国内、県内から約2万人が参加し、厳かに開催された。

開会式は、東日本大震災及び台風被害で亡くなられた方のご冥福をお祈りし、黙禱から厳かにスタートした。「オープニング」では、5回の節目を記念し、第1回大会から第4回の感動の場面を集めたオープニング映像で今大会への期待を高め、natchyによるテーマソング「ニライの彼方」の熱唱で会場中が盛り上がった。

小禄南小学校児童395名による人文字や2011年度日本女子アマチュアゴルフの覇者比嘉真美子（本部高）によるオープニングショットやラジコンヘリによる開会宣言文投下など、屋外開催ならではの演出を行った。

「開会宣言」の後、ボーイスカウト・ガールスカウトの旗手で参加国の国旗が入場した。

国・地域名が紹介されると、参加者は一斉に歓声を上げ立ち上がり、大きく手を振ってアピールをしていた。

古謝美佐子によるスペシャルライブで会場が感動に包まれ、世界一斉エイサーで各地の県人会からのインターネットを使ったりリアルタイムのメッセージには、会場から歓声が上がった。

ク あいさつ

○開会宣言

海をわたり 五大州を我が家とした
気宇壮大な われらが先人
アジアに舟を走らせ 万国の津梁たらんとした 誇り高き 琉球の民
時を経て その末裔5千名を迎え
チュラ島の魂を 世界に響かせるべく
ここに第5回世界のウチナーンチュ大会
の開会を宣言します

○第5回世界のウチナーンチュ大会開会式

主催者あいさつ

こんばんは。沖縄へようこそ。にふえーでーびる。めんそーれ、うちなーんかい。遠くから25ヶ国・地域からお出で頂きました大勢のウチナーンチュの皆様、皆様は沖縄の宝です。そしてウチナーンチュ・我々沖縄にとって、沖縄の人にとって誇りです。

第5回世界のウチナーンチュ大会開催にあたり、アバクロンビー・アメリカ合衆国ハワイ州知事、そしてボリビア共和国のヒガ特命全権駐日大使、そしてヴェネズエラ共和国のイシカワ特命全権駐日大使、他大勢のご来賓をお迎えし、このように盛大に第5回ウチナーンチュ大会を開催出来ますことを140万人の沖縄県民を代表して心から感謝申し上げ、お礼の気持ちでいっぱいでございます。

その昔に、沖縄から船をアジアに出して交易を中心とした国家として沖縄県が盛んであったと伝えられております。そしてまた、困難な移民の時代、そして戦前・戦中・戦後を含む多くの皆様が海外に渡り、苦難の時期と栄光の時期を迎えられました。さらに現代では、国際化が進み、そういう中で、色んな分野の方が海外で御活躍頂いて

おります。

今回のこの第5回世界のウチナーンチュ大会では、皆様それぞれの国から、香り高い文化の味とそして風を持って頂きました事を心から感謝いたします。

どうか皆様には5年に1回は少なくとも沖縄に、皆様のおじいちゃん、おばあちゃん、曾おじいさん、曾おばあさん、そして息子さん、娘さん、孫、ひ孫達を連れて是非、沖縄に来て、リフレッシュされ、エンジョイして頂きたいと心から祈念いたします。

皆様には海外におられて、東日本の大震災では率先して支援の手をさしのべて頂きました事を改めて感謝申し上げます。

どうか今日から4日間ですが、この世界のウチナーンチュ大会をゆっくりとご賞味・過ごして頂ければと思います。

これをもちまして私の開会のご挨拶とさせていただきます。

平成23年10月13日
第5回世界のウチナーンチュ大会実行委員会
会長 仲井眞 弘多

④ 閉会式・グランドフィナーレ

ア 日時

平成23年10月16日（日） 17：00～21：00

イ 会場

沖縄セルラースタジアム那覇

ウ 参加者数

25,000名

エ 目的

ふるさと沖縄と在住国の限りない発展と世界に広がるウチナーネットワークの拡充を祈念しつつ、再会の願いをこめて第5回世界のウチナーンチュ大会を締めくくる。

オ プログラム

・閉会式

- 16：00 開場 誘導
- 17：00 オープニング演出
- 17：06 大会ダイジェスト
- 17：12 MC登場 開会のアナウンス
- 17：20 開式の言葉
- 17：25 主催者挨拶
- 17：30 海外参加代表者挨拶

- 17：35 次世代 代表挨拶
- 17：40 若者・学生事務局 代表挨拶
- 17：45 大会メッセージ
- 17：55 エンディング アトラクション
- 18：35 閉会の言葉
 - ・グランドフィナーレ
- 18：55 プロローグ
- 19：04 オープニング映像&演出
- 19：05 島唄の世界
「世界へ広がる沖縄の唄・・・」
- 20：15 カチャーシー &花火
- 20：25 エンディングMC

カ 司会進行

比嘉 周作
具志堅 アメリア

キ あいさつ

○第5回世界のウチナーンチュ大会閉会式

主催者あいさつ

ご紹介を頂きました、この大会実行委員会の会長をしております、沖縄県知事の仲井眞でございます。

ボリビア共和国の特命全権大使ヒガ様をはじめ、沢山の多くのご来賓をお迎えし、そして多くの国々からウチナーンチュの皆様がおいで頂き、この第5回世界のウチナーンチュ大会が滞りなく運びましたことを心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

この大会では「美ら島ウチナー」、そして「魂響け遙かなる未来へ」を我々のテーマとして開催して参りました。そして、私達のこのウチナーが次の世代、そしてまた次の世代へ受け継がれて行きます事を一つの目標として開催して参りました。皆さんもいくつかイベントにご参加頂いたと思いますが、このイベント・催しものを通じて次の世代に新たな継承すべき内容がはっきりと見え始めております。

今後、若い人々がまとめて頂いたこれからのウチナーンチュ、世界のウチナーンチュの受け継いで行くべき方向について若い人々もまとめて頂きました。そしてこれから先、「万国津梁基金」というものを作って、世界中のウチナーンチュが双方向で人材育成、人材交流が出来るようにとの提言

も頂きました。

私達はこの第5回の大会を通じて皆様が世界中からお集まり頂いた世界のウチナーンチュの皆様が沖縄を味わう、ゆっくり味わって、そして鋭気を養い、またそれぞれのお国に戻って、お仕事をし、活躍される事を心から祈念いたします。同時に皆様が沖縄にもって来て頂いたそれぞれのお国の文化・風を強く我々も意識し、これから先も5年に1回ずつこのような催し物を是非続けて行きたいものと考えております。

どうか第6回世界のウチナーンチュ大会にも皆様お元気で、おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、子供さん、孫さん、ひ孫さんも連れて、是非またおいで下さいね。心から歓迎を致します。

そして、この大会を開催するにあたり、お世話になりました大勢の関係者の皆様に心から感謝申し上げます。また、大勢のボランティアの皆様にも心から感謝をいたします。これから閉会式を行います。どうかこの思い出を強く胸に刻んで、第6回大会に是非おいで下さいますよう心からお願い致します。

ありがとうございました。

平成23年10月16日
第5回世界のウチナーンチュ大会実行委員会
会長 仲井眞 弘多



○海外参加者代表あいさつ

皆様に対してご挨拶申し上げます。

グスーよーちゅううがなびら。本当に沖縄社会は大きく変わってきたと思います。

本日、この会場で皆様とお会いできてウチナーぬ島やぐなさしが、ウチナー社会はまぎさん。みなさんがここに集まったのは一つ沖縄のチムグクルだと思えます。

私はこの会場に参加している皆さん、一人ひとりが自分の家に戻ってきた気持ちになったんじゃないかと思えます。

やっぱり沖縄は神の国だと思えます。

最後になりましたが、この素晴らしい第5回世界のウチナーンチュ大会を企画した沖縄県知事仲井眞弘多氏はじめ、第5回世界のウチナーンチュ大会の実行委員会の皆さん、温かい気持ちで迎えてくれた市町村、すべての県民の皆様へ厚く御礼を申し上げます。

この大会の喜びを記念して、みんなでウチナーンチュの健康と発展、第6回ウチナーンチュ大会を期待して皆でかりー斉唱を声高らかにとなえ閉会の辞と致します。

かりー！かりー！かりー！ イッペー、ニヘー、デビル 次の大会でもう一度会いましょう。

ブラジル沖縄県人会会長

与那嶺 真次

○次の世代へと導く沖縄一次世代代表挨拶

僕は20年前にここ沖縄で、アメリカ人の血とウチナーンチュの血がチャンプルーたっくあし〜されて生まれました。はじめの10年間は沖縄で育ちましたが、ここでは、「アメリカー」と呼ばれ普通のウチナーンチュとは区別されていました。そして、10歳のときにアメリカへ渡り、ちょうど人生の半分である10年間をアメリカで育ちました。アメリカでは始めは英語も話せず、日本語も沖縄の訛りで、アメリカに住んでいる日本人とも、ちゃんしたと会話もできませんでした。僕はアメリカでは「アメリカー」ではなく、普通のアメリカ人とは区別されていました。やがて成長と共に僕は悩みました。「一体、俺って何者なんだろう？」そして、自分自身のアイデンティ

ティーを必死に探し求めました。

このような経験は僕だけではないと思えます。さまざまなハーフの人々や、海外生活をしているウチナーンチュたちも同じように、アイデンティティーを求め悩んだ経験をしたことがあるかと思えます。そして、僕は、約4年前、やっと自分のアイデンティティーを見つけました。それは、様々なウチナーンチュの力によって導かれました。自分はやっと気づきました。

三線を聞くと沖縄の海が見えます。

エイサーの太鼓を打つと肝が燃え上がります。

沖縄の訛りを聞くと心が和らぎます。

「あい、俺ウチナーンチュやっさー、なんで今ごろ気づいたばあ？」

僕のアイデンティティーとは深い歴史によって築き伝えられてきたウチナーンチュという心で作られたものだったと。

僕自身のアイデンティティーが見つかるからは、ウチナーンチュであるという、琉球魂のプライドが僕の中に出現しました。

次の世界へとこの素晴らしい沖縄を伝え続けるには、そのアイデンティティーとプライドが必要となります。それなしでは伝え続けることができません。多くの人々は、大切な物を失うまで、その失ったものの価値の大きさに気づきません。その思いは海外のウチナーンチュの人々が一番知っているでしょう。沖縄では普通に存在する文化や物事も、海外に行くとも触れることができません。だからこそ、その失った沖縄を自分の生活する海外で蘇らせるのが自然となっていくのです。ですが、僕はこの気持ちを沖縄にいる皆さんにも感じてほしいのです。若い人からお年寄りまで、すべてのウチナーンチュたちに、今持っている沖縄のすべての大切さを、失ってからではなく、今、感じてほしいのです。

今回、第5回世界のウチナーンチュ大会によって、海外や県外で活動しているウチナーンチュ、そして県内で活動しているウチナーンチュが繋がることで、お互いが、より近くなると同時に、世界中のウチナーネットワークを広めることができました。

第5回世界のウチナーンチュ大会は今日で終わりですが、僕たちは、ここで終わっ

てはいけません。現実に戻るときこそが、我々の新たなページの始まりです。我々がこのウチナーンチュ大会で感じた事、気づいたこと、そして経験した事のすべてを、このチャンスを逃した人たちに伝えるのです。気持ちを伝えるだけではなく、それを行動で見せるのです。小さなことからでもいいのです。インターネットで近くなった海外のウチナーンチュとつながり、そこからでもはじめましょう。我々、世界のウチナーンチュと共に世界中にウチナー美らさを見せましょう。そして、次の世代へと沖縄を伝え続けましょう。

次世代代表

グラムコウ 與古田 樹

○若者宣言

「生まれ島ぬ魂忘いねー、国ん忘ゆん」

「生まれ島ぬ言葉忘いねー、国ん忘ゆん」

ウチナーンチュのチムググルを若者が引継いでいこう。このウチナーンチュ大会にこめられた何百万人の先人の想いを引き継ぎ、残していきたい。ウチナーンチュとして誇りがあるからこそ、大好きな島のために何かしたいと「世界のウチナーンチュ大会」若者・学生事務局が立ち上がりました。

アイデンティティーの継承、ウチナーネットワークの継承を目的として活動し、この沖縄で一体私たちに何ができるのだろうか、アイデンティティーとは何か、私たちのルーツはどこか、そして、私たちが引き継ぎ未来に伝えるものは何なのかを必死で考えてきました。海外の若者と沖縄の若者でWorld Youth Uchinanchu Associationを立ち上げ、時にはメンバー同士がぶつかり合い、本気で語り合い、涙を流すこともありましたが、私たちに共通していることが2つあります。それは「優しさ、逞しさ、嬉しさ、色々な才能が詰まったこの小さな島の島、沖縄が大好きで、そしてウチナーンチュとしてこの島を誇りに思っていること」そして2つ目に、「この島を忘れてはいけない。失われつつある「ウチナーグチ」や「ウチナーンチュ魂」を私たちが引き継ぎ、次につなげていきたい」という想いです。

このウチナーンチュ大会には、感動の出

逢い、再会、嬉し涙、悔し涙、たくさんの想いが詰まっています。世界にいるウチナーンチュが故郷に集い、感動を超える感動を感じて、各国々へ帰っていきます。今回沖縄に来ることができなかったウチナーンチュの方々も含めて、全世界にいるウチナーンチュの皆様へ心から感謝いたします。ありがとうございます。

最後となりましたが、私の大好きな言葉をご紹介します。

「その国の未来が見たければ、その国の若者を見る」これは第1回世界のウチナーンチュ大会から関わっている先輩からいただいた私の大好きな言葉です。

若者がウチナーンチュの魂を引継ぎ、次につなげていくことを宣言とし、ご挨拶とさせていただきます。皆さん「また 5年あとうに 逢いちえー うがなびら」

また、5年後にこの島で会いましょう。

第5回世界のウチナーンチュ大会

若者・学生事務局 長 玉元 三奈美

ク 内 容

閉会式では、海外参加者を代表し、ブラジル県人会長の与那嶺真次氏のあいさつをはじめ、次世代代表の挨拶や若者・学生事務局代表の若者宣言が行われるなど式典は厳かに進み、エンディングアトラクションでは、総勢1,000人を超える出演者によるダイナミックな舞台が繰り広げられ、マミドーマなどの沖縄の民俗芸能や、エイサー、フラ、サンバなどを演舞した。主人公の県系人の少年と一世の祖母が対話しながら進める、琉球王朝時代の万国津梁の鐘の銘文、移民の父・当山久三の話の織り交ぜたストーリーとなっており、世界のウチナーンチュをはじめ多くの観客に深い感動と勇気を与えた。

閉会式終了後のグランドフィナーレは、世界のウチナーンチュ、県民、観光客が入り混じり、宮沢和史、喜納昌吉、ディアマンテス、BEGINと国内外で活躍するアーティストのコンサートでは、観客が涙する場面もあり、感動のフィナーレで会場がひとつになり、5年後の再会を誓い合った。



(3) ウチナーネットワーク分野

① ワールドウチナーシンポジウム

ア 日時

平成23年10月15日（土）

イ 場所

沖縄コンベンションセンター 会議棟

ウ 構成

(1) 講演会

13：00～13：45

(2) 提言

13：50～14：20

(3) 県人会長・新ウチナー民間大使

14：30～16：30

エ 概要

(1) 講演会

マイケル・ランジ氏〈新ウチナー民間大使〉

演題：「欧州から見た沖縄の魅力」

マイケル・ランジ氏は、奥様の出身地沖縄の歴史、自然、文化に魅せられ、本業の

園芸建築家の傍ら、ヨーロッパ諸国に対し積極的に沖縄をPRし、旅行送客活動をおこなっている。その活動が認められ、2008年に新ウチナー民間大使に任命された。

欧州人の休暇の過ごし方や動向を紹介、欧州人から見た日本本土と沖縄の差異、良さを話した。また、沖縄側へ改善のアドバイスもあった。

(2) 提言

金城 和光〈沖縄ヒューマン・キャピタル〉

県民所得の低さや海外に対する不安など、沖縄の現状を踏まえ、短期交換留学などの費用を提言させるシステムや、海外県人会のネットワークを活用した安心さを提供できるシステムなどを提言した。

(3) 県人会会長・新ウチナー民間大使

a 代表発言者

・定子 与那覇 トゥーシー

ニューヨーク沖縄県人会会長

新ウチナー民間大使

・福島 秀世

香港沖縄県人会・新ウチナー民間大使

・当銘 貞夫

北米沖縄県人会・新ウチナー民間大使

・宮城 和男

ポリビア県人会会長

新ウチナー民間大使

・遠山 光一郎

シンガポール・新ウチナー民間大使

b 内容

「ウチナーネットワークを担う人材育成」にテーマを絞って議論を行った。事前に各県人会へ活動事例や提案を募り、代表発言者を選出した。

会議当日では、事前集約したテーマに沿って議論を深め、沖縄県や県人会、民間大使、更には県内教育機関や企業等が連携し、社会全体で人材育成を推進するための「万国津梁基金（仮称）」制度創設の提言がなされた。

I はじめに

会議の目的

- ① ここ5年間の間の経過や活動の報告を行い、共有することで互いの参考とする。
- ② ウチナーネットワークを強くし、世界により豊かなウチナー社会が広がるためにはどのような連携が必要なのか。

議論の枠組み

- ・事前に県人会会長や新ウチナー民間大使に「ウチナーネットワークを担う人材の育成」について、具体的な活動事例及び今後の予定、県人会と民間大使相互間・協力体制の項目の意見を募った。意見の多くの共通点であった、「人材の交流」や「次世代への継承」をテーマに、議論を深める。

言葉の定義

- ・「ウチナーネットワーク」とは（第1回大会時の定義）
「世界で活躍するウチナンチュを介し、ウチナーないしウチナー的なものをテーマとする分野において、県系人だけでなくオキナワをキーワードに集う各界各層の関係者を取り込んだネットワーク。」
- ・世の中に貢献できる沖縄の要素（文化や芸能・美術、商品やサービス）を世界に広げる仲間たちであり、ウチナーネットワークの強化こそが、世界への貢献である。

II 第1部「人材交流における活動報告」

事前意見募集から5名を代表発言者として、活動報告と今後の計画、提案について発表。

【定子 トゥーシー（アメリカ・ニューヨーク）】

○ニューヨーク県人会では、2ヶ月ごとの集まりや新春会、ピクニック、忘年会、などの活動がある。また、日本で3月に起こった大津波の基金では\$20,000が集まった。このような集まりを通して、踊りや空手、パーランクー、ウチナーグチでのゆんたくなどを行っているうちに、若者たちがウチナーアイデンティティを感じる。

【当銘 貞夫（アメリカ・北米）】

○本年3月に北米県人会では、沖縄県の事業の一環で、人材育成を目的として、ソーシャルビジネスを経験させる研修事業を行い、4名の沖縄の大学生をインターン生として迎え入れた。県費留学生の本の制作やWebサイト等でのフォローアップを提案する。

【宮城 和男（ポリビア）】

○各国の県人会がウチナンチュのアイデンティティの維持、継承、価値観について共通認識を持ち、日本語や日本の生活習慣など、文化全般を粘り強く会員に説いていくことが必要。それに、ウチナンチュの社会、組織というものがアイデンティティを伝えるためには必要なので、それらの維持。ポリビア移住地を主体とした日系の社会というのが残っていますので、沖縄の伝統的な運動会などの行事やそれを通じたマナーなどを自然に受け継いでいく。

【福島 秀世（香港）】

○香港県人会の理念として、沖縄の子供たちに、将来沖縄を背負ってたつんだという自覚に認識を持たすことを目的に、グローバル性を持った人材教育とウチナーをよき方向に誘い、社会貢献、還元を図らんとするリーダー育成を目的とすることとしている。

○県人会では1995年から、次世代育成を目的に中学生や高校生を対象に香港でのホームステイに招待している。毎回、3名を対象とし、航空券や保険、滞在費、活動費を含む全ての回避を県人会で負担する。期間は7日間で、県人会員宅に滞在し、滞在中は県人会員全体でケアしている。

【遠山 光一郎（シンガポール）】

○シンガポール県人会は小規模で、まだ活動もあまりやっていないが、金城氏（沖縄ヒューマンキャピタル）のスタディーツアーに参加、協力して、県人会員の職場訪問、体験や体験談の紹介など、まだ微力ながら人材交流に関してできるところからスタートしている。

○シンガポールの前はベトナムにいたが、沖縄の企業家に協力していただき、基金を設置して、ホーチミン市大学の学生5人が沖縄研修を行った。

○高校時代は勉強、特に英語が苦手で、2浪して入学した県内の大学から台湾の東海大学に2週間研修に行った際、国際的なものに触れて帰って来て、そこから死に物狂いで勉強した。そこから僕の人生がスタートした。

その経験から、人材交流は今のウチナンチュの若者にとっても非常に意義深いものである。県も民間大使も県人も全て一致団結して協力してやっていくことが、非常に大切だと思う。

フロアより

【フロアからの発言1】

○県人会に若い世代の人が居ない。他の州に行ったり、子育てで忙しくて県人会に参加ができない。県人会の存続方法へのご意見を聞きたい。

【定子 与那覇 トゥーシー（アメリカ・ニューヨーク）】

○ニューヨーク県人会でも共通している。今年は若者を対象としたピクニックを実施したところ、若者や子供たちをつれた家族がいっぱい参加してくれて驚いた。

○まだ実施したことはないが、沖縄のことに興味がある若者の主催で若者対象のイベントを実施してもらおう。ニューヨーク沖縄県人会の名を使用して若者たちが約束、規則を守ってイベントを行うことが必要だが。

○県のジュニアスタディーツアーや県費留学生を続けたり、ニューヨーク県人会独自で若者へ奨学金を毎年出している。

【フロアからの発言2（カナダ文化協会・金城）】

○カナダ文化協会では、1年越しに南風原町から体験入学の方を受け入れている。

アイデンティティの継承という面では、県人会員も5世、6世の時代になり、日本語もウチナーグチもわからない。沖縄に来て、沖縄を見て、感じてもらって、子供たちが「自分もウチナン

チュの血が流れているんだ」というのを実感することが広がってきているが、沖縄の子供たちが方言を知らない。沖縄の大人がアイデンティティをもっと大切に、自身を持って、子供たちに歴史や文化を教える必要がある。県系人が沖縄に来て、沖縄の子供たちが模範を示さないといけない。

【宮城氏（ボリビア）】

○県人会の中や隣の県人会同士でも知恵を出しあって、自助努力することからはじめる。沖縄も社会の変化に応じて文化に対する価値観もある程度変わってきていると思う。現代の沖縄から新しい風を吹き込んでもらうという、協力体制が必要である。

【フロアからの発言3（石垣氏・英国 民間大使）】

○若者の言葉の問題を多少感じていた。息子3名も一緒に来ているが、フェイスブックで、すでに若者同士で交流をしており、グローバル次世代プロジェクトにも参加していることを、沖縄に来て始めて知った。言葉は英語がほとんどで、日本語は話せないが、沖縄が非常に好き。ウチナー大好きになると、勝手に交流の輪が広がる。このウチナー魂さえ持っていることが1番だと思う。

【フロアからの発言4】

○サンフランシスコ県人会では、ミーティングを日本語で行っている。2世、3世、4世となると、言葉の壁があり意見が伝えられない。もし、英語部や青年部を作ったら、若い人たちも参加しやすいのではないかと思う。

○ウチナンチュは日本人とは違う、アメリカ人とは違うという不安があるから、アイデンティティが強くなると思う。2世、3世、4世が語りあう機会があり、また、1世とも言葉が通じなくてもそのようなことを語り合う機会があったらいいと思う。

【定子 トゥーシー】

○（フロアからの発言4に対し）どこの県人会でもよくある問題。1世と2、3、4世とでは言葉だけでなく、思考過程、ものの考え方、表現の仕方などとてもギャップがある。今後、フェイスブックを使うことが当たり前になるような県人会が出てくると思う。

【当銘氏】

○（先のフロアからの発言4の発言者に対し）サン

フランシスコの県人会長になられて、英語での会議や若い世代をどんどん押し上げていくのはどうか。また、不安とあったが、最近のウチナンチュは誇りをもっている。不安にならずに、誇りを持ってやっていくべき。

【宮城氏】

○アメリカでも、ボリビアでも、ブラジルでも、日本人気質を持って、ウチナンチュらしく住んでいる地域の社会で人材として提供することが本当の国際人だと思う。

○県人会員の世代交代については、やはり英語圏では英語、スペイン語圏ではスペイン語での会議になってくると思う。そうでなければ、自分の意見をしっかり伝えられない会議になっては、中身がないと思う。

【福島氏】

○沖縄はかつて独立国家だったということを独立心や自立心、冒険心というものを教えることによって、子供たちが沖縄を背負って立つという意識を持たすことが大事。沖縄のこれからの次世代育成の中において、県と海外の県人会と、どうグローバルコラボレーションをやるかということが大事だと思う。

○県には、若者の人材育成の支援と沖縄から派遣する前に、アイデンティティ教育を行うことを求める。自分の国を知らないものが、他の国を尊重することはできない。海外県人会と県が一体となって進めてほしい。

【フロアからの発言5】

○ブラジル県人会では、若い世代の既結婚者へは、夫婦で活動するようお願いしている。男性のほうに先に声をかけても参加しないが、女性に声をかけ活動を始めると、そのだんなさんも役員となる。理事の中に女性を入れているが、毎回参加してくれる。

Ⅲ 第2部「交流の活性化方法と次世代への継承について」

【フロアからの発言6】

○英語もしゃべれず勉強もできなかったが、アメリカに行けたという自分の経験から、誰でも世界に出られるということを伝えたい。沖縄から世界に出て成長する。若者やこども達はみんな、（住んでいるところを）離れてみて成長すると思う。

【フロアからの発言7】

○県費留学生制度があるということ今回ウチナンチュ大会に参加して初めて知ったが、いららないと思う。この費用を海外に行つてがんばっている人を補助したり、沖縄の伝統芸能を学べるグッズを各地の県人会に送ったりするような使い方をした方がよいと思う。

【島袋氏（日経グループ 代表）】

○専門学校を経営しているが、費用の一部は学生負担で、残りを学校が持ち、学生たちを毎年海外に派遣している。16年前、福島さん（香港・民間大使）にお会いした際に、「19、20の子供たちに世界を見させてほしい。ウチナンチュはこんなにできるんだ」という話になって、7年前から毎年高校生を夏休みにカナダに連れて行っている。若い人たちが世界にでるには、きっかけが必要である。1ヶ月でもいい、2ヶ月でもいいからきっかけを作って、海外県人会の皆さんと触れ合う、海外でがんばっているウチナンチュがいるということを若者に見せないと沖縄の人たちは育っていかない。様々な形で若者たちが夢を持ってやれるような環境づくりをぜひみなで一緒にやっていきたい。

【フロアからの発言8】

○元県費留学生であるが、家庭の事情で留学ができていない状況の中、勉強して県費で海外に行くことができた。県費留学生の制度は必要である。ただ交流、滞在をするだけでなく、何かひとつの目的、例えば、沖縄のイベントをその国でやる、若者をその実行委員をやってもらおうと、沖縄の文化が、海外で受け入れられるということで、誇りを持ちながら活動できる、達成感を作れるのではないかと思う。



【金城 和光氏】

○あまりお金がかからない短期の交換留学などは、一企業などでできるが、長期留学となると、アメリカでも2、300万はかかる。沖縄県民の所得は200万円しかないのに、留学費用まで出せないのが現状である。夢を持っている学生には、基金を作って海外に送るべきじゃないかと思う。ぜひ、海外県人会会長や民間大使には沖縄県に基金の提案をして欲しい。沖縄の産学官、世界のウチナーンチュで基金を作って人材育成を行う基金を作ったらどうか。

【遠山氏】

○できるだけ多くのウチナーンチュの仲間に、少しでもいいから機会を与えて、それをバネに自分で切り開いていくというシステムを作ったほうが1番よいのではないかと思う。

IV まとめ

「人材の交流」や「次世代への継承」について話し合いを進め、沖縄県や県人会、民間大使、更には県内教育機関や企業等が連携し、社会全体で人材育成を推進する仕組みが重要であることが共通認識として得られた。

- ① 産業界、学校、行政、海外組織（県人会、民間大使）「産学官外（：海外）」の4者が人材育成について最善の方法を検討し続ける。
- ② 地域間、人材、世代間の連携と交流のためには、日々の活動やアイデア交換の場が身近にあることが大切であるため、より実用的なインターネット上の交流サイトの基盤整備に着手
- ③ 「万国津梁基金（仮称）」を創設し前記の取り組みへの支援の提言

沖縄県知事 仲井真 弘多殿

第5回世界のウチナーンチュ大会
ワールドウチナーシンポジウム
県人会会長・新ウチナー民間大使会議

提言書

2011年10月15日

提言

沖縄県知事 仲井真 弘多 殿

私たち、世界の沖縄県人会会長と新ウチナー民間大使は、本日、第5回世界のウチナーンチュ大会を機に集い、ウチナーネットワークを担う次世代の人材育成等について討議しました。

沖縄県が目指す「世界に開かれた交流と共生の島」の実現と世界各地に散らばる県系人コミュニティの活性化に向け、われわれ世界のウチナーンチュは、文化、ビジネス、学術など幅広い分野での交流を促進していくとともに、その担い手となる、若き次世代のウチナーンチュを、沖縄県内においても、海外の県系人コミュニティにおいても、継続的に育成していくよう努力いたします。

このため私たちは、20年、30年、50年の長期的視野を持ちながら、県内の産学官や140万の沖縄県民、海外の県人会、民間大使ほか、世界中のウチナーネットワークぐるみの人づくりが必要であるとの共通認識を得ました。

その実現に向け、以下ご提言いたします。

世界のウチナーネットワークの交流を促進し、共に人材を育成する
「万国津梁（ばんこくしんりょう）基金」制度の設立

- 沖縄県内の産学官各分野と世界のウチナーンチュが一致団結して人づくりの100億円の基金を創設する。
- 世界のウチナーネットワークを活用し、沖縄県内の若者を海外へ、海外のウチナーコミュニティの若者を沖縄へ、それぞれ派遣して交流を行うなど、未来のウチナーネットワークを担う人材を育成する（交換留学制度の創設、県費留学・ジュニアスタディツアー事業の拡大など）

以上

② グローバル次世代プロジェクト

○プレイベント

第1回グローバル次世代プロジェクト

日 時：平成23年3月26日（土）

参加者数：約100名

内 容：海外研修で県系人や外国人との交流を経験した県内学生らが体験の報告会や、世界に広がるウチナーネットワークとの関わり方について議論を行い、ウチナーンチュ大会への機運を高めた。

第2回グローバル次世代プロジェクト

日 時：平成23年4月23日（土）

参加者数：24名（大学生、20代半ばまでの社会人）

内 容：プレイベントや本大会で行うプロジェクトの企画・実施、若者へ大会の周知を図るため、学生自ら事務局を立ち上げる。

- ・ウチナーンチュ大会学生事務局の紹介
- ・ディスカッション「ウチナーンチュ大会に向けて、学生事務局の今後の取り組み」

成 果：若者・学生事務局が立ち上がり、前回大会の映像や事務局長の話をふまえ、今後若者・学生がウチナーンチュ大会に向けてどのようなことができるか、「留学」や「事前PR」などのテーマごとに分かれブレインストーミングを行った。

第3回グローバル次世代プロジェクト

日 時：平成23年7月3日（日）

参加者数：約60名（ジュニアスタディ参加中高生、県系人、留学生などを含む）

内 容：大会参加に向けて、移民の歴史や海外の沖縄県系人社会について学ぶ。

- ・講演 前原信一氏（元沖縄テレビ放送常務取締役）（世界で活躍する県系人を取り上げたテレビ番組『沖縄発われら地球人』『世界ウチナーンチュ紀行』を製作）
- ・グループディスカッション「次世代に何を伝えていくか？」

成 果：前原氏から番組製作の経緯や取材で経験したことなどの紹介や、失われつつある“ちむぐる”、沖縄の精神・気質を海外参加者と交流するこ

とによって再確認することができる」と話した。移民の歴史や生活を知らなかった学生らも、真剣なまなざしで聞き入っていた。

グループディスカッションでは、各テーブルに県系人の留学生らが入り、若者自身の現状と比較することによってウチナーンチュとしてのアイデンティティを考え、大会に向けてどのような活動をすべきかなど意見を出し合った。

第4回グローバル次世代プロジェクト(大会PR)

日 時：平成23年7月9日（土）、10（日）

来場者数：2日間計、約7万3千人（主催者発表）

内 容：若者へウチナーンチュ大会の周知を図るため、第25回シーポートチャタンカーニバルにおいて、北谷町協力のもと、PRブースを設置し、前回大会のDVD上映や写真パネル展、北谷町からボリビアへの移民史パネル展、チラシ配布、メッセージフラッグへの寄せ書きの呼びかけ等を行った。

第5回グローバル次世代プロジェクト

日 時：平成23年7月23日（土）

沖縄国際大学

参加者数：約40名（海外留学生、留学経験者・予定者、ジュニアスタディ参加中高生を含む）

内 容：世界を旅した同世代の経験を聞き、海外へ出るメリット等について考え、留学等の意欲を高める。また、若者が海外へ一歩踏み出すためのきっかけとして、県内で世界のウチナーンチュと交流ができる大会へ参加を呼びかける。

- ・講演 長濱良起氏（三線を片手に大学卒業後617日間で32カ国を旅した。「沖縄人 世界一周！絆をつなぐ旅!!」著者）
- ・トークセッション

登壇者：長濱氏、仲村啓氏（学生事務局代表、ドイツ留学や11カ国の旅の経験者）、濱砂裕治氏（大学卒業後39カ国を旅した。）

成 果：世界32カ国を旅した長濱氏から、海外での体験や現状、偶然知ったボリビアの「コロニアオキナワ」を訪ね世界のウチナーンチュとの交流したことなど、自身が感じた世界のちむぐるについて紹介があった。

また、メディアを通して感じた海外のイメージと、実際に世界を旅し感じた海外のイメージが乖離していると強く痛感し、県内若者は自分の視野を広げ多面的な考えができるようになるためにも、積極的に海外に出て行くべきだと語った。

また、長濱氏は自身の貯金のほか、企業へ営業を行い、県内企業や個人から集めた協賛金を旅行資金としたという実体験から、お金がないと諦めるのではなく、学生という強みを活かし、やりたいことがあれば積極的に動き、企業などを動かすべきだと語った。

第6回グローバル次世代プロジェクト

日 時：平成23年8月26日（日）

琉球大学学生会館

参加者数：約60名（県内学生、海外留学生、留学経験者・予定者、ジュニアスタディ参加中高生、一般県民を含む）

内 容：「ワールド ユース ちゃんぷるー in 沖縄」と題し、ワークショップなどの移民紹介ブースや各国紹介ブース（アメリカ、カナダ、ハワイ、アルゼンチン、ペルー、ブラジル、ボリビア）沖縄紹介ブース、ウチナーンチュ大会紹介ブースやステージイベントを行い、大学生をはじめとする若い世代へ移民や海外への興味を高め、若者・学生事務局の活動のPRをおこなった。

○若者代表合宿

ア 日 時

10月13日（木）、14日（金）

イ 場 所

かんぼの宿 那覇レクセンター

ウ 参加者：30名

（20名：各国代表、親善大使／10名：若者・学生事務局）

エ 概要・目的

14日に行う国際会議をスムーズに行うため、前日に合宿を行い、海外参加者と若者・学生事務局のメンバーの顔合わせ、大会後の計画やアクションの共有、アイデア出しを行う。

オ 代表合宿内容

- ・各代表顔合わせ
- ・World Youth Uchinanchu Associationの共有
- ・若者国際会議の流れの共有
- ・事前に作成した大会後の計画、アクションを共有し、意見を出し合うなど、国際会議に向けて頭作りをする。

○若者国際会議

ア 日 時

平成23年10月14日（金） 13：00～18：00

イ 場 所

沖縄コンベンションセンター
会議棟B5～7

ウ 参加者：約100名

エ プログラム

第1部 「各国代表紹介、彼らの沖縄への思い」

第2部 「若者事務局の提案・ディスカッション」

第3部 「若者事務局宣言、知事提言」

オ 代表出席者

玉元三奈美（若者・学生事務局長）

グラムコウ樹

（アメリカ・テキサス州代表）

ミシェル・ミヨリ・パニス

（アメリカ・ペンシルバニア州代表）

デイビット・ジョーンズ

（アメリカ・ハワイ代表）

石垣 真二（イギリス代表）

松堂 マルセロ 忠永（ブラジル代表）

宮城 津河山 ハイメ・アントニオ
(ペルー代表)
池原五月 (ボリビア代表)
瀬底ギジェルモ (アルゼンチン代表)

カ 概 要

第1部 「各国代表紹介、彼らの沖縄への想い」

(1) アメリカ (グラムコウ樹・アメリカ テキサス州代表)

紹介内容：

ヒューストン沖縄県人会や沖縄文化協会、宮城流能松会 (琉球舞踊研究所)、琉球國祭太鼓テキサス支部について

私にとっての沖縄：

誇りであり、アイデンティティ、その気持ちを知らない人たちに今気持ちを伝えるためにここに来た。

(2) アメリカ (ミシェル・ミヨリ・パニス ペンシルバニア州代表)

紹介内容：

Okinawa America Ryukyu culture

Ryukyukoku matsuri daiko USA

私にとっての沖縄：

沖縄は強いつながりを持っている。沖縄としての誇りを持っている。沖縄の人は人と違うことを認める。誰でも歓迎し、魅力的なその精神をアメリカ人にも伝えていきたいという想いを持っている。

(3) ハワイ (デイビット・ジョーンズ)

紹介内容：

Young Okinawans of Hawaii

(フェイスブックでの活動も紹介)

Eisa in Hawaii

(沖縄のエイサーとの違い)

Fellowship and education

私にとっての沖縄：

10歳まで沖縄で育つ。最初は沖縄に興味がなかった。しかし第4回世界のウチナーンチュ大会に参加してとても歓迎され心打たれた。それから沖縄に興味を持つようになり、はハワイに帰ってから沖縄について調べ始めた。しかし若い人たちは興味がないのでムーブメントを起こす必要がある。

(4) イギリス (石垣 真次)

紹介内容：

父がウチナーンチュ、母はイギリス人。沖縄はとても強いアイデンティティがある。

もっとコミュニケーションを取るべき。

ウチナーネットワークをたくさんの人たちに知ってもらいたい。

沖縄への想い：

イギリスにはウチナーンチュが少ない。ネットワークが少ない。ネットワークを広げて、ヨーロッパの人に、沖縄の伝統文化を伝えたい。

(5) ブラジル (松堂 マルセロ 忠永/う りずん会)

紹介内容：

青年会の活動、祭り太鼓、空手、Requies geino dokokai、うりずん会、懇親会、沖縄祭り、support to AOKBについて

南米持ち回りニーセーターツアーの企画・運営について

私にとっての沖縄：

沖縄では自分のルーツを見つげられる。沖縄は自分の家である。両親から沖縄の話をよく聞いていた。自分のルーツを感じられる場所。日本語は自分の母国語ではない。ウチナーグチは各国の県系人を除けば沖縄でしか話されない。ウチナーグチに加え、伝統文化の継承も必要。

(6) ペルー (宮城 津河山 ハイメ・アント ニオ/ペルー沖縄若者連合会)

紹介内容：

ペルー沖縄若者連合会の活動

琉球國祭太鼓 ペルー支部

北中城村人会、中城村人会、北谷町人会

ペルー日系若者連合会

沖縄に対する想い：

ペルーは移民の歴史が長く、戦前・戦後での差別問題により沖縄の言葉は話さなくなってしまった。しかし、現在では子供も沖縄に興味が高まっている。沖縄の心を受け継いでいきたい。

(7) ボリビア (池原五月/ボリビア次世代 代表・琉球國祭太鼓)

紹介内容：

ボリビア沖縄県人会について

コロニア沖縄第一青年会 (第二、三)、サンタクルス青年会の活動の説明、琉球國祭り太鼓ボリビア支部について

沖縄への想い：

それぞれの青年会で団結しようと頑張っている。沖縄に行ったことがある人は少ないが、アイデンティティは継承され沖縄への愛は強い。困難の中移住し、開拓を頑張ってきた1世、2世に恩返ししていくことが私たちの役目。これからも沖縄への愛が途切れないように頑張っていきたい。

(8) アルゼンチン (瀬底ギジェルモ/アル ゼンチン次世代代表・琉球國祭り太鼓支 部長)

紹介内容：

アルゼンチン沖縄連合会、流芯ロザリオ太鼓、琉球國祭り太鼓、ゴルドバ太鼓、峰井団地エイサー、各団体の協力について

沖縄への想い：

小さいころから祭り太鼓をしている。自分ひとりでも沖縄の文化を調べて、伝えようとしている。しかし伝えるのは難しい。アルゼンチンでは沖縄の文化を教えてくれない。去年初めて沖縄に来て、アルゼンチンに戻った後、祖父に話すと、涙を流してくれた。そこで沖縄へのおじの感謝の気持ちに気づいた。最近では「命どう宝」というイベントで沖縄に伝えた。アルゼンチンでは伝えていくのは難しいが頑張っていきたい。

第2部 提案

“移民の思いを受け継ぎたい”、“沖縄のために何かしたい”という思いを行動に移すため、次の3つのテーマに絞り話し合った。

① 「ウチナーグチの大切さ」

内容：言葉にはその国・地域の考え方や精神、文化が表れている。世代交代が進むにつれ、ウチナーグチを話せる人が減っており、沖縄の文化が消滅してしまう。伝承するにはどうしたらよいか話し合う。

事例：琉球大学のウチナーグチサークル
Skypeを利用したウチナーグチ講座
(ハワイ)

提言：「ウチナーグチ世界大会の実施」
その他アイデア：琉神マブヤー
の英・西・葡の字幕付DVDの作成

② 「ウチナーネットワークの持続的活用 について」

内容：大会の課題でもあるウチナーネットワークの次世代への継承として、持続的な活用方法のアイデアを出し合う。

提言：「ウチナーンピック」(カチャーシーや
ハーリーなどの伝統文化の競技)
「ウチナーフィルムフェスティバル」
「若者ウチナーンチュ大会」(年1
回、各国もちまわり)

③ 「沖縄文化の再創造」

内容：伝統、文化、歴史を継承しつつ、
若者の目線で新しい形で表現する
ことについて話しあう。

提言：「漫画コンテスト」(世界のウチ
ナーンチュによる、沖縄の歴史や
文化を題材にした漫画)
「沖縄ゆいまーるコレクション」
(ファッションショー)
「海外ウチナーンチュ向けの沖縄
ツアーの企画・実施」





グローバル次世代プロジェクト若者国際会議 提言書

2011年10月14日

提言

沖縄県知事 仲井眞 弘多 殿

- ・何百万人の先人達の想いを引き継ぎ、残していきたい!
- ・ウチナーンチュのチムグクルで世界を平和に!

今ある沖縄は先人達が苦労や困難を乗り越えてきたからこそあります。その苦労や困難を共にすることにより、結ばれてきた心を次は私たち若い世代が引継ぎ、沖縄、世界で、素晴らしい花を咲かせます。

私たちワールドユースウチナーンチュアソシエーションは、ウチナーンチュとしての誇りを大切に、この大好きな島のために何かしたいと世界各国の代表が集まり、2011年10月に設立されました。

私たちは、2011年10月14日、第5回世界のウチナーンチュ大会の機会に集い、白熱した討論の末、次の提案について合意いたしました。

■我々世界のウチナーンチュが作り上げる、新時代の第6回世界のウチナーンチュ大会を!

今から4年後の2015年に第6回世界のウチナーンチュ大会を開催し、以下の新しいプロジェクトを実施することをご提案いたします。

私たちは、以下の実現に向けて自ら行動します。

- 世界のウチナーンチュ大会を4年に1回開催する。
- 4年後の大会に向けて、県人会等世界のウチナーンチュが、それぞれの地において、継続的に準備に取り組み、以下の事業を実施する。
 - ・ウチナーグチ世界大会
 - ・ウチナーンピック (カチャーシー、ハーリー等の大会)
 - ・ウチナーフィルムフェスティバル
 - ・第6回大会準備のための若者ウチナーンチュ大会を毎年、各国持ち回りで開催
 - ・漫画で沖縄発信
 - ・海外の人向け沖縄ツアー
 - ・沖縄ゆいまーるコレクション

以上

(4) 文化・芸能分野

① チャンプルー交流祭 (ステージイベント)

ア 日時

平成23年10月14日 (金) ~16日 (日)
 メインステージ / うまんちゅステージ
 14日 14:00~20:30 14:00~20:30
 15日 12:00~20:30 12:00~20:30
 16日 9:00~12:00 12:00~17:00

イ 会場

メインステージ: 沖縄セルラースタジアム那覇
 うまんちゅステージ: 沖縄セルラースタジアム那覇周辺広場特設ステージ

ウ 内容

開会式や閉会式でも使用された沖縄セルラースタジアム那覇内でのステージでは、3日間にわたり、民俗芸能やエイサー、ライブなどが行われた。開催期間中、天候に悩まされたが、オキナワン・ロック・ライブやヤング・ミュージック・フェスタ、沖縄ラテンフェスタなど多種多様なプログラムで、来場者がスタンドだけでなく、ステージ前で踊るなど会場がひとつになり盛り上がった。芸能文化交流ステージでは、海外県人会と県内のエイサーやフラなどの団体が出演し、演舞を披露した。また、連携イベントとして、那覇市教育委員会による旗頭フェスタが行われた。

2日目 [10/14(金)]

■ メインステージ	■ サブステージ
[14:00~16:00] ◎ 沖縄の唄・日本の唄・心の唄コンサート ・安座間本流 清風 一扇会 本竹絹子琉舞研究USA ・大成京子 ・石原エミ ・宮園ゆう子 ・フェイエットビル沖縄県人会 ・島幸子 ・朋理會子 ・いらみなげんこと 童謡唱歌の会 ・北米沖縄県人会芸能部 宮城能松琉舞研究所	[14:00~20:30] ◎ うまんちゅステージ ・甲斐聖子 ・URUKA ・NPO法人手話ダンス You & I 沖縄支部 ・RoseWood ・ma-yun ・梅田潤 ・中西礼奈 ・Building Blocks ・The Blue sky kick's ・Hirara
[16:15~17:45] ◎ オキナワン・ロック・ライブ ・第1部 / Okinawa Rock Legendry 喜屋武幸雄プロデュース ・第2部 / MURASAKI and the Kubasaki Connection (紫&クバサキ・コネクション)	 D-51
[18:00~18:30] ◎ ジュニアJAZZバンドライブ [18:30~20:30] ◎ ヤングミュージックフェスタ ・U-DOU&PLATY ・IVAN ・仲宗根グラシエラベロニカ ・ZUKAN ・D-51	 ZUKAN

3日目 [10/15(土)]

■ メインステージ	■ サブステージ
[12:00~17:30] ◎ 芸能文化交流ステージ ・西原高校マーチングバンド ・RBCラジオダンスーズ ・沖縄拳法空手道連盟米国本部 (空手演舞) ・ヒスパニック文化センター(三線演奏) ・まかんちゅ太鼓 ・潮平きじむなー太鼓 ・古龍エイサー隊 ・千葉真一 ・グアム県人会 ・Hui Nohona Aloha ・Na kiele o ka Lani ・Hau'oli Piko O Ka Aina Hula Studio ・ハワイアンフラスタジオ チャーミングティアラ ・レイアロハフラスタジオ ・ニライカナイ ・Halau MOANI KE'ALA Okinawa ・Hawaiian Hula Studio Ami ・U'i Ohana ・Aloha Pu'uwai ・Yuri-Taka ISLANDER'S HAWAIIAN & OKINAWAN HULA ・グローバル次世代プロジェクト-琉球ストンプ ・Hula Halau Pikake Terunuma ・Mana'olana Hula Studio ・Tiare Heipua 沖縄 ・Hawaiian Dance Studio Ryo hau'oli Aloha ・バーボンズ	[12:00~20:30] ◎ うまんちゅステージ ・ヒスパニック文化センター ・語やびら沖縄語ぬぬ ・みゆ ・きじむなー ・Hirara ・桜坂ブラジルAXE ・北谷フラスタークル (ハイビスカス) ・久音の会 ・古龍エイサー隊 ・THE☆CAMISOUL ・北中城村字熱田婦人会 ・S4 ・古島自治会まかんちゅ太鼓 ・Taka Chan ・Cojaco ・ヌチ
[18:00~20:30] ◎ 沖縄ラテンフェスタ ・翁長巴西 with 沖縄サンバB.B.B ・ディアマンテス ・フェスタマレーラ ・クラベリオ ダンスパフォーマンス ・カチンバDX ・NORA (オルケスタ・デ・ラルス)	 ディアマンテス  カチンバDX  NORA

4日目[10/16(日)]

■メインステージ

[9:00~12:00]
やん気・元気旗頭フェスタ in 世界のウチナーンチュ大会
 ・那覇市内の各小中学校約54校の旗頭、約3000名が集結!

絆は永遠に！心をつなぐ、歌と踊り。最高のフィナーレ!!

[16:00] ○開場
 [17:00~18:35] ○閉会式
 [18:50~20:30] ○グランドフィナーレ

みんながひとつになる感動劇場
 大会の熱気は最高潮に

- ・N'Jami
- ・natchy(テーマ曲)
- ・TAOファクトリー—斉演舞
- ・世界エイサー演舞
- ・宮沢和史
- ・喜納昌吉
- ・ディアマンテス
- ・BEGIN
- ・フィナーレカチャーシー&花火



TAOファクトリー



ディアマンテス



BEGIN



宮沢和史

■サブステージ

[12:00~17:00]
うまんちゅステージ
 ・ヤンパル・ヒート・オーケストラ
 ・山城幸次郎
 ・沖縄サンバBBB
 ・きいやま商店
 ・ユタ州沖縄県人会舞踊会、貞原本流球美之会
 ・奥武島棒術保存会
 ・よしもと
 ・沖縄エンターテイメント
 ・ニューヨーク・ヤカラ〜ズ
 ・那覇市シルバー人材センター会員サークル

② ワールドバザール

ア 日時

平成23年10月13日(木)~16日(日)
 10:00~21:00 (13日のみ12:00~21:00)

イ 会場

沖縄セルラースタジアム那覇周辺広場

ウ 内容

飲食テントや物販のテント・ブースが並び、世界の料理や物産品、沖縄の物産など、多くの買い物客でにぎわいを見せた。中南米の飲食テントでは長蛇の列を作り、世界の味に舌鼓を打った。ペルーやアルゼンチン県人会の物産も並び、多くの買い物客が珍しい商品や居住国の生活等について質問をしたりと出展者と交流していた。

エ 出店

飲食テント：15企業・団体
 物販テント：35 〳
 物販ブース：19 〳



※会場内は禁煙となっております。喫煙の際は、会場指定の喫煙所をお願いいたします。

飲食テント	物販コーナー	物販・体験コーナー
① まぐろや本鰯/魚介類のバーベキュー等	① 沖縄・豊見城ブース/豊見城市物産の販売	① 琉香/紅型やかすり販売等
② 琉球ワールド/南米料理の販売	② 南仲尾次三味線なんでも屋/三味線、太鼓販売等	② ボディアートもちまん/エアブラシでの吹きアート等
③ うるくそば/沖縄そば販売	③ サバニズム/沖縄アーティストシャツ、着物販売等	③ UCHINANCHU COMI INJECTION/DAZLAZ/飲料品販売
④ タイ国料理 ジャイタイ 沖繩店/タイ料理	④ コーレー沖繩/コーレグス商品販売等	④ まるともコーポレーション/シーサー、バッグ、サンダル、雑貨販売等
⑤ TUS AMIGOS/ペルー料理販売等	⑤ 御菓子御殿/紅いもタルト等のおみやげ品販売	⑤ BRASTEL・TELECOM/通信サービスのPR等
⑥ 沖縄おやつクルムン/沖縄の菓物を使ったクレープ販売等	⑥ 那覇出版社/沖縄関連書籍	⑥ ケベック州代表(沖縄カナダ協会)/映画PR
⑦ AKI-FARM/ブラジル料理販売等	⑦ 中国物産館/中国、アジア商品の販売	⑦ 月桃アイランド/北大東島の月餅を利用した化粧品販売等
⑧ オブリガード/メキシコ料理全般	⑧ 沖縄物産販売/三味線、パーランクー販売等	⑧ 沖縄ロシア協会/ロシア産品の販売
⑨ ペーニャあまんかい/アルゼンチン料理販売等	⑨ 南風堂株式会社/民芸品、ちんすこう販売等	⑨ イタリアンハウス/ワイン、オリーブ販売等
⑩ 琉球新麺 通堂/とんこつラーメン販売	⑩ 株式会社産間味ごんぶ/シーサー、ぼんず、昆布販売等	⑩ コーラルバイオテック株式会社/黒糖菓子、健康食品販売等
⑪ 日本沖縄華僑華人総会/中国飲茶屋台	⑪ うるま市観光物産協会/うるま市特産品販売	⑪ 財団法人地球共生ゆいまーる/アンケート
⑫ 沖縄生麺協同組合/沖縄そば販売	⑫ 株式会社産間味ごんぶ/シーサー、ぼんず、昆布販売等	⑫ 在ザンビア民間大使ブース/ザンビアPR
⑬ 沖縄製粉株式会社/サターアタチー、ちんびん販売等	⑬ 株式会社産間味ごんぶ/シーサー、ぼんず、昆布販売等	⑬ (資)三線館/三線、楽器販売等
⑭ 14(金) お茶席 Please enjoy the tea! CHADO URASENKE TANKOUKAI OKINAWA SHIBU 茶道裏千家演文会 沖縄支部 / 呈茶	⑭ 一般社団法人 沖縄県発明協会/発明製品の奨励及び販売	⑭ RYUKYU COSME HOUSE/沖縄産素材を使用した化粧品販売
⑮ 15(土)、16(日) 沖縄伝統ブクブク茶保存会/お茶のふるまい	⑮ PAN OCEAN, LLC/KONSHIKI氏ロゴ商品販売	⑮ ちかご堂/震災復興支援チャリティー商品の販売
⑯ デリケババ/トルコ料理販売	⑯ 新城工作所/沖縄三線、エイサー太鼓販売等	⑯ 北谷竹細工/竹製品及びエイサー竹人形DVD販売等
		⑰ 知念太鼓、三線館/三味線・太鼓販売等
		⑱ マルガリータ/アルゼンチンの物産
		⑲ Fresh! ANMAR 株式会社ホクガン/もずく汁、アサ汁等の商品販売
		⑳ その他
		㉑ ワールドバザール運営本部
		㉒ 総合案内(INFORMATION)



③ 琉舞・空手 奉納演舞(武)

ア 日時

平成23年10月13日(木) 10:00~10:50

イ 場所

首里城公園 御庭

ウ 概要

かつて海外諸国との交易で隆盛を誇った琉球王国の政治、外交、祭祀の中心地であり、琉球王朝のシンボルである「首里城」において、国王・王妃の前で人間国宝や国・県指定重要無形文化財保持者らにより空手及び琉球

舞踊を奉納し、ウチナーンチュのアイデンティティを再確認する。

エ 出演者

《かぎやで風》

島袋 光晴、玉城 節子、宮城 能鳳、
親泊 久玄、宮城 幸子、玉城 秀子

《四つ竹》

真境名結子、安次富紀子、嘉数紀美子、
比嘉 美好、玉城 静江、比嘉 涼子、
我那覇則子、金城 光子

《空手》

仲里周五郎、友寄 隆宏、湧川 幸盛、
八木 明哲、宮城 颯、比嘉 稔、
新垣 勇

④ 舞への誘い、安全祈願

ア 日時

10月13日（木）・14日（金）

1日3ステージ 各30分

- (1)（木）11：30～12：00、（金）11：00～11：30
- (2) 14：00～14：30
- (3) 16：00～16：30

イ 場所

首里城公園 下之御庭

ウ 後援

内閣府沖縄総合事務局

エ 演目

- (1)若衆こてい節 (2)上り口説／ぜい
- (3)貫花／仲里節 (4)むんじゅる

⑤ 空手道・古武道交流祭

ア 日時

平成23年10月14日（金）、15日（土）
9：00～17：00

イ 会場

県立武道館

ウ 参加者数

2,451名

エ 概要

沖縄を発祥の地とする空手道・古武道は、今日、世界170カ国余りの国や地域に普及し、5,000万人もの空手人口がいるといわれており、世界に誇る伝統文化である。

本県が誇る「空手道・古武道」は、武器を持たない平和を愛する民衆の護身の術として普及し、厳しい修練を通して強靱な身体と不屈の精神を培うとともに、礼節を重んじる人格の形成に寄与する武道として継承されてきた。世界のウチナーンチュにとっても沖縄のアイデンティティを形成する大きな柱である。世界的に人気の高い空手の交流祭を沖縄で開催し、空手発祥の地沖縄をアピールするとともに、空手を通じた相互交流を図るため開催した。

オ プログラム

1日目

- オープニングセレモニー
- 高段者演武（空手・古武道各団体）
- 海外参加者集団・個人演武

2日目

沖縄空手の若い担い手たち、少年少女・高校生・学生らによる演武、さらに女性空手家たちの流派を超えた演武を紹介し、継承と未来への力強い息吹を表現する。

- 少年少女集団演武
- 大学生の集団演武
- 女性空手家達の集団演武
- 一般団体演武
- 閉会式

⑥ 世界のウチナーンチュ世界・平和・未来展

ア 日時

平成23年10月13日（木） 15：00～21：00
14日（金）、15日（土） 10：00～21：00
16日（日） 10：00～14：30

イ 会場

沖縄セルラースタジアム那覇
2階スタンド下

ウ 概要

ウチナーンチュのアイデンティティを継承する為、県系人移民に関する資料をメイン会場である沖縄セルラースタジアム那覇の施設内で実施した。主に移民一世の歴史や活躍の様子を紹介し、映像も交えて学ぶことが出来る展示会とした。

エ 展示構成

テーマ：世界（移民）

- 移民年表パネル
- 沖縄県民の国別移民先に関する世界地図パネル
- 移民先の国々の概要パネル
- 各国の民族衣装展示（マネキン）

- 移民関係写真パネル
- パスポート変遷パネル

テーマ：平和

- 第3回及び4回実施した平和ツアー等のパネル
- 日系人と第二次世界大戦関連
- 平和祈念創造の森に植樹した木々と名簿
- 沖縄平和賞パネル展

テーマ：未来

- ジュニアスタディーツアーパネル
- JICAの世界協力と沖縄県出身隊員紹介パネル



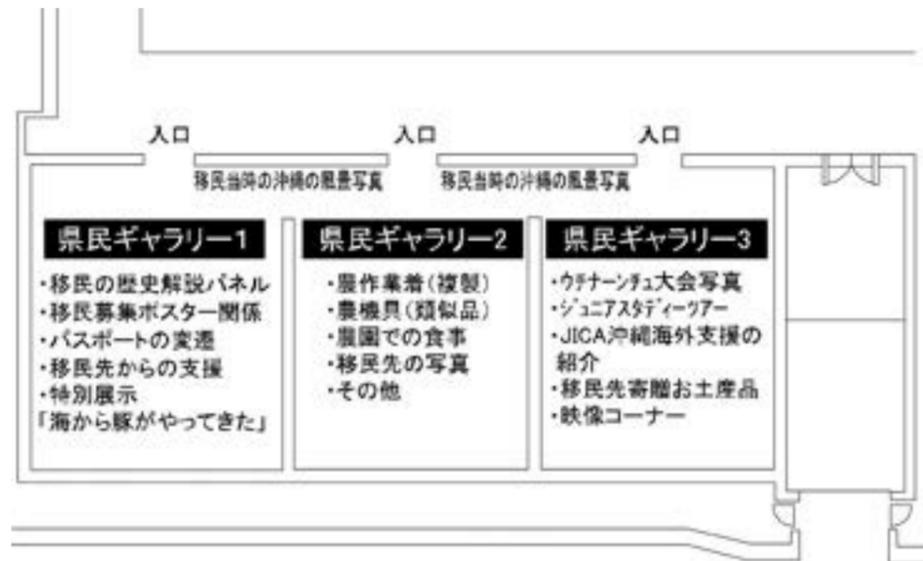
⑦ 移民資料展

ア 日時
平成23年10月13日（木）～10月16日（日）
10：00～17：00

イ 会場
沖縄県立博物館・美術館県民ギャラリー1・2・3

ウ 概要

戦前戦後と海外へ羽ばたいた県系人の移民史と、移民先での暮らしぶりを写真や現物で紹介。更に現代のウチナンチュの姿や過去の大会の様子もパネルで紹介。



ギャラリー1

- ・移民年表パネル
- ・沖縄県民の国別移民先に関する世界地図パネル
- ・移民先の国々の概要パネル
- ・移民関係写真パネル

[特別展示]

- ・特別写真パネル展「海から豚がやってきた」

ギャラリー2

- ・パスポート変遷（現品展示）
- ・日系人と第二次世界大戦
- ・比嘉太郎氏の関連資料
- ・JICA横浜 海外移住資料館資料

ギャラリー3

- ・第1回世界のウチナンチュ大会関係資料
- ・JICAの世界協力と沖縄県出身隊員紹介パネル
- ・第3回及び4回実施した平和ツアー等のパネル
- ・各市町村史閲覧コーナー

[映像コーナー]

- ・移民当初の映像資料を大型ビジョンで放映

【海から豚がやってきた 感謝状贈呈式】

戦後沖縄の窮状を救済するため、「ハワイ連合沖縄救済会」の命を受け、550頭の豚を沖縄に送り届けた7人の勇士の功績を称え、長く後生に伝えるため、大会を記念して下記のとおり表彰式を行った。

日時：平成23年10月13日（木） 10：00～10：30

場所：県立博物館・美術館 県民ギャラリー

出席者（御子息）：

- ①エバン ウエズ (evan uezu) 様
(上江洲易男氏の孫)
- ②糸村 ジョーン 昌一 (Itomura, Jon Shouichi) 様
(鳥袋眞栄氏の孫)
- ③キース トナキ (Keith Tonaki) 様
(渡名喜元美氏の甥)
- ④ナリサ ウエハラ (Narissa Uehara) 様
(宮里昌平氏のひ孫)

【別展示（県民ギャラリー入口手前通路平面）】

- ・小禄レストランの歴史（ハワイからの資料）
- ・系図関連展示（ハワイからの資料）

⑧ NIPPONIA ～世界に響くニッポンのうた、ウチナーのうた～

ア 日時
平成23年10月14日（金） 18：30～

イ 場所
沖縄コンベンションセンター 劇場

ウ 主催
ファイブ・ディー株式会社

エ 入場者数
1,250名

オ 出演者
宮沢 和史、エリック福崎（ペルー）、大城クラウディア（アルゼンチン）、ジェイク・シマブクロ（ハワイ）、ディアマンテス（ペルー）、マルシア（ブラジル）、Lucy長嶺（ペルー）

カ 内容
世界各国の日系人シンガー、ミュージシャンたちのコラボレーションコンサート。舞台上では、移民、日系人の歩みや、出演者を紹介する映像を映し、日本の唄、ウチナーの歌をそれぞれが歌う。

ディングオーバーンがおきた。また、出演者が観客をお見送りする際に、大会参加者から激励の言葉をかけられたり、写真撮影を行ったりするなど、あたたかな交流が生まれた。



⑨ 現代版組踊「翔べ！尚巴志」

ア 日時
平成23年10月15日（土）
昼13：00～ 夜18：00～ 2回公演

イ 会場
沖縄コンベンションセンター 展示場

ウ 主催
現代版組踊「翔べ！尚巴志」公演実行委員会

エ 入場者数
約2,150名

オ 概要
琉球三山統一という偉業を成し遂げ、「首里城」を建立したといわれる尚巴志の史実がもととなった現代版組踊。オーディションで選ばれた沖縄県内の中高生がエネルギーに演じた。終演後は昼・夜公演ともにスタン

⑩ 琉球の風「琉球クリエイティブと琉球舞踊」

ア 日時
平成23年10月15日（土） 17：00～

イ 会場
沖縄コンベンションセンター 劇場

ウ 主催
琉球新報社

エ 入場者数
1,280人

オ 内容
琉球舞踊を西洋バレエにアレンジした「琉球クリエイティブバレエ」(振り付け・長崎佐世)と若手男性舞踊家による「琉球舞踊」の舞台。第1部の「琉球クリエイティブバレエ」は沖縄音楽の「固み節」「与那国の猫小」「鳩間節」「谷茶前」など、10演目をシンセサイザーと三線の地謡をバックにダンサーたちが軽や

かに舞った。衣装も沖縄らしさを凝らし、新たな沖縄文化を感じさせる舞台を展開した。

第2部は男性舞踊家が「長者の大主」「浜千鳥」など5演目を披露した。ウチナー口による喜劇もあり、会場を笑いで包んだ。

フィナーレはバレエダンサーと男性舞踊家による「マミドーマー」の共演で、それぞれのよさがいい形で表現され、盛り上がった。会場はアンコールの拍手がやまず、最後は海外からのウチナーンチュの観客も参加してカチャーシーを踊った。世界のウチナーンチュの皆様への琉球文化を紹介することにふさわしいイベントとなった。

カ 演 目

<第1部 琉球クリエイティブバレエ>

- ① Pray～祈り
- ② 固み節
- ③ 新川大漁節
- ④ 与那国の猫小
- ⑤ 貫花
- ⑥ 鷲ん鳥
- ⑦ 鳩間節
- ⑧ めでたい節
- ⑨ 加那よ一天川
- ⑩ 谷茶前

<第2部 男性舞踊家による琉球舞踊>

- ① 長者の大主
- ② 波平大主道行口説
- ③ 浜千鳥
- ④ 武の舞
- ⑤ 海風

<フィナーレ 琉球クリエイティブバレエと琉球舞踊のコラボ> マミドーマー



⑪ 「我々が住むは五大州」

ア 日 時

平成23年10月15日（土） 18：30～20：45
16日（日） 14：00～16：15

イ 場 所

国立劇場おきなわ 大劇場

ウ 主 催

国立劇場おきなわ

エ 入場者数

2日間 計1,020名

オ プログラム

15日（土）

第1部 古典舞踊・組踊

《古典舞踊》

歓迎の舞 かぎやで風
女踊 かせかけ
女踊 天川
二才踊 高平良万歳
女踊 赤田風

《組踊名場面》

「執心鐘入」より
～中城若松、宿の女出合いの場～

第2部 雑踊・創作舞踊

雑踊 浜千鳥
雑踊 花風
雑踊 繁盛節
雑踊 海のちんぼーらー
雑踊 谷茶前
雑踊 魚売い姉小
雑踊 むんじゅる
雑踊 汀間当
雑踊 加那よ一天川

16日（日）

第1部 古典舞踊・組踊

《古典舞踊》

歓迎の舞 かぎやで風
女踊 かせかけ
二才踊 高平良万歳
女踊 本貫花
女踊 瓦屋

《組踊名場面》

「執心鐘入」より
～中城若松、宿の女出合いの場～

第2部 雑踊・創作舞踊

雑踊 浜千鳥
雑踊 花風
雑踊 打組加那ヨー
雑踊 むんじゅる
雑踊 伊計離節
雑踊 海のちんぼーらー
雑踊 谷茶前
雑踊 金細工

カ 概 要

世界へと旅立ったウチナーンチュ達とともに海を渡り、世界各地で受け継がれてきた沖縄の伝統芸能。現在では、故郷・沖縄との架け橋となって、世界と沖縄を結んでいる。

本公演では、世界中で活躍する沖縄芸能の実演家、芸能団体が一堂に会し、各国ではぐくまれてきた沖縄の音楽、舞踊を披露し、また、異国の地に残る希少な技法の数々を紹介した。



⑫ NHKのど自慢

ア 日 時

予選会：平成23年10月15日（土）
12：45～18：00
本 選：平成23年10月16日（日）
12：15～13：00

イ 会 場

那覇市民会館 大ホール

ウ 主 催

NHK沖縄放送局
那覇市

エ 参加者数

予選会出場者数：25名
本選出場者数：2名

オ 概 要

海外でも親しまれている「NHKのど自慢」が世界のウチナーンチュ大会の期間に併せて開催された。

海外からは、事前に応募いただいた中から25名が予選会に出場し、うち南米から参加した2名が本選に出場。アルゼンチンから参加した仲宗根 グラシエラ ベロニカさんがグランプリに選ばれた。会場には海外参加者も駆けつけ、盛り上がった。



(5) 経済・産業分野

① ワールドビジネスフェア

ア 日時

平成23年10月14日（金）～15日（土）
10：00～17：00

イ 会場

沖縄コンベンションセンター 会議棟

ウ 内容 出展ブース

	分野	エリア	企業名		分野	エリア	企業名
1	バイオ	7	(株)EM研究機構	39	サービス	60	(株)メルシー
2	バイオ	8	NPO亜熱帯バイオマス利用研究センター	40	サービス	75	(株)ヤブサチ
3	バイオ	16	オーピーバイオファクトリー(株)	41	食品	17	(株)赤マルソウ
4	バイオ	11	(株)化学及血清療法研究所	42	食品	18	沖縄県黒砂糖協同組合
5	バイオ	9	金秀バイオ(株)	43	食品	19	泡盛マイスター協会
6	バイオ	15	(株)先端医療開発	44	食品	20	(株)沖縄トータルサービス
7	バイオ	10	(株)ソムノクエスト	45	食品	21	沖縄特産販売(株)
8	バイオ	14	(株)熱帯資源植物研究所	46	食品	22	(株)沖縄ホーム
9	バイオ	12	(株)ハプロファーマ	47	食品	23	くがに菓子本店
10	バイオ	13	(株)ファルマエイト	48	食品	25	ジュースプラス
11	IT	33	アクシオヘリックス(株)	49	食品	26	(有)水耕八重岳
12	IT	34	(株)オーシーシー	50	食品	27	(有)ハマショク
13	IT	35	(株)サンネット	51	食品	28	マミヤ(株)
14	IT	36	(株)ジェイシー教育研究社	52	食品	29	(株)三倉食品
15	IT	37	(株)ジュアルディ	53	食品	30	やんばる彩葉
16	IT	38	(株)KAGURA	54	食品	31	琉球アジアンビバレッジ(株)
17	IT	39	(株)ていだスクエア	55	コンテンツ	44	(株)コミチャン
18	IT	40	キャッツ(株)	56	コンテンツ	45	Miki Mongoose Original,Inc
19	IT	41	Facebook沖縄ユーザーグループ	57	コンテンツ	46	PLANNINGOFFICE Coda
20	IT	42	(株)ユービックシステム	58	観光	49	(株)アンカーリングジャパン
21	IT	43	(株)レキサス	59	貿易	61	新垣通商
22	環境	66	(株)アースノート	60	貿易	62	(株)萬裕商事
23	環境	64	(株)アイシーエス	61	海外	50	Adentum SWEDEN AB
24	環境	68	(有)ATOM	62	海外	51	G&C Corporation
25	環境	67	(株)シャイニーボールホールディングス	63	海外	52	沖縄ポーランド協会
26	環境	63	(株)ネオ・プランニング	64	海外	54	大連アテンドエンプロイメントエージェンシー
27	環境	65	(株)ヘルスクリーン	65	海外	55	大連活今信息科技有限公司
28	環境	69	りゅうせき商事(株)	66	海外	56	大連苏飞信息科技有限公司
29	メーカー	72	(株)アドバンス・カー・エンジニアリング	67	海外	57	ネパール国際ナショナルトレーディング(有)
30	メーカー	48	(株)神戸製鋼所	68	海外	53	(株)ラティーン
31	メーカー	71	(有)ジュネ	69	海外	58	和僑総会
32	メーカー	73	(株)トイファクトリー	70	支援	5	沖縄総合事務局
33	メーカー	70	ひろし畳店	71	支援	2	(株)沖縄TLO
34	メーカー	47	プレシヤスライフ(株)	72	支援	3	学生社会団体TIRA
35	メーカー	24	(株)ヘーラー	73	支援	1	TOKYO AIM取引所
36	サービス	74	沖縄ワタベウエディング	74	支援	4	国立大学法人 琉球大学
37	サービス	32	(株)ジェイシーシー	75	支援	6	JETRO沖縄貿易情報センター
38	サービス	59	(株)ネオ・プランニング				玉木流 琉装からじ結い研究

《プレゼンテーション》

43企業・団体が自社の事業や商品のプレゼンテーションを行った。



② ビジネスシンポジウム

「ビジネスネットワークの発展に向けて」

ア 日時

平成23年10月14日（金） 13：00～15：30

イ 会場

沖縄コンベンションセンター会議場B1

ウ 内容

第1部 基調講演

『沖縄の心を世界へ』 又吉 真由美「えんグループ」代表

第2部 パネルディスカッション

テーマ：「沖縄と海外のビジネス交流の展開について」

コーディネーター：金城 和光

(株)沖縄ヒューマンキャピタル代表

パネリスト（順不同）

- ・トニー佐久田(在沖米国商工会議所会頭)
- ・安里 政晃(那覇商工会議所青年部会長)
- ・筒井 修(和僑総会会長)
- ・安里 勝之(WUB沖縄副会長)
- ・米村 明
(沖縄県産業振興公社産業振興部長)
- ・又吉 真由美(えんグループ代表)

海外でビジネス展開し活躍しているパネリストが登壇し、沖縄の地理的優位性や海外でのビジネスを行う場合の慣例や経験談を紹介し、聴講者にウチナーネットワークを生かした海外展開を勧めた。

(6) スポーツ分野

① 国際親善ゲートボール大会

ア 日時

平成23年10月14日（金） 9：00～17：00

イ 会場

奥武山運動公園 のびのび芝生広場

ウ 参加チーム数

海外参加チーム 12チーム
県内参加チーム 24チーム 計36チーム

エ 概要

海外でも親しまれているゲートボール。県内の愛好者と交流を行った。協議運営に関しては、沖縄県ゲートボール連合のご協力によりスムーズに行われた。

オ 大会結果

優勝 アルゼンチン 沖縄県人会D
準優勝 アルゼンチン 沖縄県人会E
第三位 アルゼンチン 沖縄県人会B
第三位 名護市 名護

- 1 アルゼンチン沖縄県人会A
- 2 アルゼンチン沖縄県人会B
- 3 アルゼンチン沖縄県人会C
- 4 アルゼンチン沖縄県人会D
- 5 アルゼンチン沖縄県人会E
- 6 ペルーA
- 7 ペルーB
- 8 ブラジル GB愛好会A
- 9 ブラジル GB愛好会B
- 10 ブラジル GB愛好会C
- 11 ブラジル GB愛好会D
- 12 ボリビア沖縄県人会
- 13 伊江村 阿良
- 14 名護市 名護
- 15 金武町 伊芸ガジマルA
- 16 金武町 伊芸ガジマルB
- 17 うるま市 具志川A
- 18 うるま市 具志川B
- 19 うるま市 勝連
- 20 沖縄市 なかよし
- 21 沖縄市 東部会
- 22 沖縄市 ももやま

- 23 読谷村 ゲートボール協会
- 24 北谷町 北谷A
- 25 北谷町 北谷B
- 26 北谷町 北谷C
- 27 北谷町 北谷D
- 28 宜野湾市 宜野湾連合
- 29 浦添市 テーラ浦添
- 30 浦添市 浦添レディース
- 31 那覇市 那覇
- 32 那覇市 小緑
- 33 南風原町 南風原
- 34 南風原町 南風原かすり
- 35 南城市 玉城G B
- 36 南城市 知念宿納森

- FC 甕仕込
- FEETERS
- MABUI CORPS FC
- KoBaCi
- セレソン RYUKYUS
- Livatape. FC
- Ryudai Ryugakusei F. C
- 名護マサーブルー
- FC SORA
- チーム ナガヤマ
- 沖縄国際センター
- 45'S
- Wウイング沖縄 FC
- 南石クラブ
- 海外県系人ホームステイ (+北米・英国海外参加者)

エ 概要

海外県系人ホームステイ参加者や北米、英国の参加者のチームや留学生チームと県内参加者らがフットサルを通じて交流を行った。

オ 大会結果

- 最優秀賞=Kin United
- フェアプレイ賞=海外県系人ホームステイ
- ユニーク賞=南石クラブ
- アットホーム賞=W ウイング沖縄 FC
- パフォーマンス賞=セレソン RYUKYUS



② 国際親善フットサル大会

- ア 日時**
平成23年10月15日 (土) 10:00~17:00
- イ 会場**
沖縄セルラーパーク那覇
- ウ 参加チーム**
フットサルパーク東浜
FC コトー
MAE DA PUMP
Kin United
リュウキーズ

(7) 連携イベント

世界のウチナーンチュを歓迎し県民との交流を図る企画や、大会の機運を盛り上げる企画を公募し、19のイベントを選定。大会前や期間中に実施され、大会を大いに盛り上げた。

催事名	沖縄映画作品上映会「やぎの大冒険」
日時	10月15日(土) 13:00~14:30 17:00~18:30
会場	沖縄コンベンションセンター会議棟 B (無料)
内容	日本だけではなく、香港、中国、韓国、カナダなどの映画祭でも上映され、高い評価をうけた日本映画史上初となる県在住・中学生カントクの長編映画デビュー作。沖縄の祝いの時などに食べる“やぎ”の食文化と沖縄独特の人、風土、自然等の魅力を14歳のみずみずしい感性で表現した作品。
催事名	沖縄戦記録フィルム上映と講演会
日時	10月15日(土) 10:00~17:00
会場	沖縄コンベンションセンター会議棟 B (無料)
内容	貴重な沖縄戦記録フィルムの上映と講演を通じて平和を考える
催事名	Next Generation! Change the Next Uchina! ~ちゅら島の魂響け未来まで~
日時	10月10日(月・祝) 昼公演 14:30~ 夜公演 18:30~
会場	沖縄コンベンションセンター劇場 (有料)
内容	沖縄を愛する全ての人々がウチナーンチュだというメッセージを含め、宮沢和史と沖縄の次世代の若者が歌と踊りで新しいウチナーンチュのカタチを示す情熱の舞台
催事名	お茶席
日時	10月15日(土) 10:00~17:00
会場	沖縄セルラースタジアム那覇 ワールドバザール会場内 (300人限定)
内容	壺屋焼き茶器で山原茶と琉球菓子のふるまい
催事名	ワールドワイドヤングマンティーマナーセレモニー
日時	10月13日(木) 13:00~18:00
会場	沖縄セルラースタジアム那覇 (事前申し込み制)
内容	若者による「ぶくぶく茶」の振る舞い
催事名	呈茶
日時	10月15日(土) 11:00~18:00
会場	沖縄コンベンションセンター会議棟ロビー (300人限定)
内容	煎茶とその作法の体験
催事名	ブクブク茶を楽しむ
日時	10月15日(土) 10:00~17:00
会場	沖縄セルラースタジアム那覇 ワールドバザール会場内 (300人限定)
内容	ブクブク茶のふるまい
催事名	語てい残さなウチナーぬちむぐる
日時	10月15日(土) 14:00~17:00
会場	沖縄コンベンションセンター会議棟 B
内容	海外におけるウチナー口の現状と課題をさぐるシンポジウム
催事名	沖縄しまくとぅば音の伝承プログラム
日時	10月15日(土) 14:00~18:00
会場	沖縄市農民研修センター
内容	しまくとぅばシンポジウム・語やびら大会

Ⅳ 全県的拡がりを見せた事業

催事名	沖縄しまくとぅば音の伝承プログラムワークショップ
日時	10月13日(木)～16日(日)
会場	沖縄セルラースタジアム那覇 ワールドバザール会場内
内容	「しまくとぅば紙芝居」「うちなあぐちBINGO大会」 「しまくとぅば民話紙芝居」「お手玉」
催事名	沖縄角力大会
日時	10月16日(日) 13:00～17:00
会場	奥武山運動公園のびのび芝生広場
内容	沖縄角力大会
催事名	群舞の祭典 結舞踊「イヤサッサ 踊らな！」
日時	10月16日(日) 10:00～15:00
会場	沖縄コンベンションセンター展示場
内容	沖縄民謡にあわせての群舞の祭典
催事名	座喜味城通りふれあい祭り
日時	10月9日(日) 10:00～22:00
会場	読谷村 座喜味城通り 城前広場
内容	読谷物産出店や芸能ステージで構成する地域の祭りで大会来場をおもてなしを行なう
催事名	トックリキワタ里帰りプロジェクト
内容	参加者へのお土産として、南米県人会の協力によりポリビアから沖縄に根付いたトックリキワタの綿で作成したストラップを制作
催事名	琉球オペラ アオリヤエ
日時	10月8日(土) 19:00～ 10月9日(日) 19:00～ 10月10日(月・祝) 16:00～
会場	浦添市てだこホール (有料)
内容	尚寧王と妃を題材にしたオペラの公演
催事名	沖縄平和賞パネル展
日時	10月13日(木) 15:00～21:00 10月14日(金)～10月15日(土) 10:00～21:00 10月16日(日) 10:00～14:30
会場	沖縄セルラースタジアム那覇
内容	沖縄平和賞のパネル展示
催事名	国際水中映像フェスティバル受賞作品上映会
日時	10月15日(土) 10:00～12:00 14:45～16:45
会場	コンベンションセンター会議棟 B (無料)
内容	国際水中映像フェスティバルグランプリ受賞作品「ツナカウボーイ」、劇場映画賞「ていだかんかん」(沖縄でサンゴの養殖、再生に取り組んだ実在の人物をモデルにした映画) の上映
催事名	第1回国際ウチナーンチュ祖先シンポジウム
日時	10月15日(土) 9:00～12:00
会場	沖縄県立博物館・美術館 美術館講座室
内容	国際的な沖縄系図学のネットワークを構築し、海外の沖縄県人会社会がお互いに協力、情報伝達、利用可能なデータや資源の共有などができるようにする為のシンポジウム
催事名	ゆいまーる沖縄プロジェクト(アンケート調査)
日時	10月13日(木)、14日(金)
会場	開会式(沖縄セルラースタジアム那覇) ワールドビジネスフェア(沖縄コンベンションセンター)

1 広報事業

(1) 一般広報

① キャッチフレーズ、ロゴマーク、テーマソングの募集

大会の開催について広く一般に周知するとともに、大会成功に向けて機運を醸成することを目的に大会キャッチフレーズ及びロゴマークを一般公募した。

ア キャッチフレーズ

- a 募集期間
平成23年1月13日～平成23年2月10日
- b 応募総数 195点
- c 最優秀作品
「ちゅら島の 魂響け 未来まで」
(石垣市 仲島 未来)

イ ロゴマーク

- a 募集期間
平成23年1月13日～平成23年2月10日
- b 応募総数 200点
- c 最優秀作品



(那覇市 高島 彦志)

ウ テーマソング

- a 募集期間
平成23年3月17日～平成23年4月22日
- b 応募総数 21点
- c 最優秀作品
「ニライの彼方」
応募者：フェルマータ株式会社
作詞・作曲：新垣 雄
歌：n a t c h y

② テーマソングの活用

大会テーマソングは平成23年6月29日に県庁前広場（県民広場）において、表彰式・発表会を行った。また7月4日から県庁において、休憩時間の正午から庁内放送を行い、大会ホームページにも掲載し大会をPRした。

(2) 報道機関との連携

① テレビ

種 別	放 送 番 組	内 容 等
番組	うまんちゅひろば (県広報番組)	タイトル『第5回世界のウチナーンチュ大会開催!』 平成23年9月24日、25日 (沖縄テレビ、琉球放送、琉球朝日放送)
	ぐるっと8県九州・沖縄 11:30～11:45	ウチナーンチュ大会についての紹介 10月3日(月)(NHK福岡放送局)
	スーパーニューススペシャル 『つなぐ ～地球人の絆～』 16:53～17:54	ウチナーンチュのアイデンティティを次世代に繋ぐことをメインテーマに、大会会場から県民、参加者の声を取り上げた県民参加型の番組を放送する。 平成23年10月14日(金)(沖縄テレビ)
	未来へ～若者たちのウチナーンチュ大会 14:00～14:55	国内外の若いウチナーンチュたち取材し「未来に残したいうちの宝」を共有する。 平成23年10月8日(土)(琉球放送)

	青年はアジアを目指す ～世界のウチナーンチュをはぐくむ人材育成とは～ 16:00～16:55	ウチナーンチュのアイデンティティの次世代への繋ぎをテーマに、海外で活躍する県出身者と若い世代の交流を取り上げ、「世界のウチナーンチュ」をはぐくむ取り組みを紹介する。 平成23年10月8日(土)(琉球朝日放送)
番組コーナー提供	OTVスーパーニュース	番組内で、県民や大会関係者や若者のウチナーンチュ大会へのメッセージを紹介するコーナーを設けた。 平成23年10月3日～14日(10回放送)(沖縄テレビ)
	沖縄BON!!	番組内で世界のウチナーンチュ大会を紹介する。 平成23年10月1日(土)(琉球放送) 那覇大綱挽会場から生放送で大会PRを行う。 平成23年10月8日(土)(琉球放送)
	みのもんたの朝ズバ!	番組内の天気予報コーナーにおいて大会テーマソングをバックに前回大会の映像を流し大会PRを行う。 平成23年9月30日(金)、10月3日(月)、5日(水)、7日(金)(琉球放送)
スポットCM15秒		平成23年9月30日～10月16日(日) 沖縄テレビ 32本 琉球放送 42本 琉球朝日放送 30本 ※企業協賛スポット含む
残暦板の設置	スーパーニュース RBC THE NEWS ステーションQ	平成23年10月3日(月)～ 平成23年10月3日(月)～ 平成23年8月23日(火)～

② ラジオ

種 別	放 送 番 組	内 容
番組コーナー提供	Repose After Hours (リポーズアフターアワー) 毎週月～金 19:10～19:15	番組内(5分間)で大会概要の紹介や、大会参加国情報の提供を行い、大会をPRする。 平成23年9月12日(月)～10月14日(金) <FM沖縄> 計25回
	市民の広場 (7月9日(土)、7月23日(土))	大会概要、イベント紹介等。生放送。 11:00～12:00 ※FM琉球株式会社(FMレキオ)と同時放送 <エフエム二十一>
	①シャキッとi (8:25～8:35) ②サファイア玲子の恋せよ!お仕事♪ (21:30～22:00) ③ほっとホットスタジオ (10:30～10:50) ④music shower (11:00～14:00)	大会情報等紹介 ①7月29日、8月19日、26日、9月2日、9日、16日、23日、30日、10月7日、10月14日生放送10回 ②8月8日、10月8日 ③9月10日 ④平成23年10月3日～7日、毎日2回×5日間 計10回 <琉球放送>

種 別	放 送 番 組	内 容
番組コーナー提供	おはよう九州・沖縄 7:45～7:50	大会情報等紹介生放送。 9月23日(金) <NHK福岡放送局>
	RYUKYU TIME (19:00～19:30)	大会概要紹介 9月4日(日) <横浜エフエム放送>
	かりゆしとともに - 思鶴 (うみちる)	8月15日から10月10日までの間、計6回の生放送 ※12:00～(日本時間):大会進捗状況等 ※放送時間は10分から30分程度 ※大会後も年末まで大会関連情報を放送 (AM 1210 Radio KZOO:ハワイの日本語ラジオ局)
	①チャットステーションL「世界のウチナンチュわーどわどにいらっしゃーい」 (14:00～16:00) ②山川のりじのジャズライブ (18:00～18:30)	①平成23年10月3日～14日毎週月～金計10回番組内で各国の沖縄県人会へ電話でインタビューを行う。 ②10月9日(日)、大会直前情報紹介<ラジオ沖縄>
ラジオカー	「ハッピーアイランド」 au 街角トピックス	開会式直前情報及び大会PR 10月13日(木) 12:32～12:40 <FM沖縄>
スポットCM	大会PRスポット20秒	①66日前イベント開催告知 国際通りでの『第17回一万人のエイサー踊り隊』において、ジュニアスタディーツアー参加者によるエイサー演舞 ②平成23年10月1日～16日 RBCiラジオ 280本 ラジオ沖縄 280本 エフエム沖縄 252本 ※企業協賛スポット含む
	時報20秒スポット	午前8時と午前11時の時報に合わせて大会PRスポットを流した。 平成23年10月3日～12日 毎日 計20回

③ 新聞

種 別	内 容	掲載日・掲載誌/数量
広告掲載	出店募集	平成23年7月4日 全5段 (沖縄タイムス) 平成23年7月13日 全5段 (琉球新報)
	ボランティア募集	平成23年8月11日・23日 全5段 (沖縄タイムス) 平成23年8月11日 全5段 (琉球新報)
	大会告知(入場者募集)	平成23年9月2日 全5段 (琉球新報) 平成23年9月5日 全5段 (沖縄タイムス)
	66日前イベント 一万人のエイサー踊り隊 (ジュニアスタディーツアー関係)	平成23年8月6日 (沖縄タイムス、琉球新報)
大会特集	特集(別刷り)	平成23年10月10日 別刷り16頁 (琉球新報社) 平成23年10月11日 別刷り12ページ (沖縄タイムス)
大会開催告知	残歴板の掲載	紙面(1面)において、大会80日前(7月23日)から残歴板の掲載開始

④ その他の連携

種 別	名 称	内 容 / 掲 載 日
広報誌	県広報誌「美ら島沖縄」	大会特集ページ(全2ページ)の掲載:10月号、12月号 5月号～10月号まで記事下段に大会PRロゴ表示
寄稿	都道府県展望	9月号:大会概要紹介
	財界九州	9月号:大会概要紹介
	あすの九州・山口	9月号:大会概要紹介
	翼の王国	9月号:大会概要紹介(全日空機内紙)
	ソラタネ	10月号:大会概要紹介(ソラシドAIR機内誌)
横断幕、懸垂幕		沖縄自動車道インター等で横断幕、懸垂幕の掲示 (西日本高速道路株式会社)
その他(HP相互リンク等)		ホームページの相互リンク、大会関連記事掲載など (有インターフェース、沖縄観光コンベンションビューロー、JICA沖縄、国立劇場おきなわ、日産レンタリース沖縄、琉球新報社、沖縄タイムス社、マガジンハウス、おきレシ、オキナヴィータ等多数)

2 寄附金、協賛金活動

今大会を運営するにあたっては、民間のノウハウを活用し、企業からの協賛を積極的に導入することで効率・効果的な事業運営を目指すとともに、大会の成功に向けて県民の篤志を受け、全県的な展開を図ることとした。

(1) 寄附金

沖縄県国際交流事業振興寄付金として、沖縄県に対し、総額1,180,580円の寄付が寄せられたほか、第5回世界のウチナーンチュ大会実行委員会に対し、10,000円の寄付が寄せられた。

(2) 協賛金

協賛活動にあたっては、本大会のイベント及び広報委託事業を受託した協同組合沖縄産業計画と実行委員会とが連携して取り組んだ。その結果、県内127の企業より総額41,249,693円の協賛金が集まった。

3 物品提供

提供された物品は以下のとおり活用され、大会参加者等の好評を得た。

- ① 大会参加者へのお土産として、大会参加記念品とともに、(財)沖縄観光コンベンションビューローから星砂、オリジナルポストカード及び観光パンフレット等、まちづくりNPOイケメン連からトックリキワタ携帯ストラップ、

さらに、沖縄県酒造組合連合会から提供された大会ロゴマーク入り「泡盛ミニチュアボトルセット（3本入り）」、沖縄都市モノレール(株)から大会オリジナル1日無料乗車券が海外からの参加者に配布された。

また、琉球手まり保存会からの手まり、NPO法人琉球の茶道あけしの会からの琉球かるた及び御茶屋御殿復元期生会準備委員会からの冊子についてはそれぞれ海外県人会長及び次世代代表者へ招待者記念品と併せて贈呈した。(写真は 頁、 頁)

- ②(株)マブヤー企画から琉神マブヤーDVD300枚が提供され、海外及び国内県人会等に送付した。
- ③アイラブオキナワ(株)から、ワッペン用ネックストラップ7,000本が提供され、海外参加者や事務局スタッフにより使用された。
- ④ブラジル県人会関係者(個人)から、紅型ブローチ32個が提供され、チャンプルー交流祭の出演者に贈呈した。
- ⑤沖縄セルラー電話(株)から、大会期間中に携帯電話機100台(通話料無料)が提供され、大会運営スタッフにより利用された。
- ⑥(株)日産レンタリース沖縄から大会期間中を含む約2週間、車両6台が提供され、事務局スタッフにより利用された。
- ⑦フォーモストブルーシール(株)からアイスクリームが8,500個提供され、前夜祭パレードや知事招宴、開会式で配布された。
- ⑧グァバ生産組合からグァバ茶ペットボトル200本、(有)我那覇畜産から焼き豚が提供され、知事招宴出席者に振る舞われた。

物品提供一覧

会社・団体名	提供物品	提供数量
(財)沖縄観光コンベンションビューロー	星砂、オリジナルポストカード、観光パンフレット	各5,000個
沖縄県酒造組合連合会	泡盛ミニチュアボトル（3本入り）	5,000セット
まちづくりNPOイケメン連	トックリキワタ携帯ストラップ	5,000個
沖縄都市モノレール(株)	ゆいマールワンデイパス	5,000枚
琉球手まり保存会	琉球手まり	85個
NPO法人琉球の茶道あけしの会	行事カルタ	100個
御茶屋御殿復元期生会準備委員会	『御茶屋御殿』（冊子）	100冊
(株)マブヤー企画	琉神マブヤーDVD	300枚

アイラブオキナワ(株)	ワッペン用ネックストラップ	7,000個
ブラジル県人会関係者	紅型ブローチ	32個
沖縄セルラー電話(株)	携帯電話（通話料無料）	100台
(株)日産レンタリース沖縄	レンタカー	6台
フォーモストブルーシール(株)	アイスクリーム	8,500個
グァバ生産組合	グァバ茶（ペットボトル）	200本
(有)我那覇畜産	焼き豚	1頭

4 観光施設利用の優遇措置、バスの無料利用

平成23年3月、沖縄県内の主要な観光施設に海外参加者の無料又は割引料金での入園について協力を依頼したところ、10月6日から19日までの間、17施設は無料、21施設は入場料金又は購入代金が割引、5施設は一部無料または割引となった。(施設入場

時に大会ワッペンを提示)

また、(社)沖縄県バス協会の協力により、10月6日から19日までのバス無料乗車証(大会ワッペン裏面)が発行され、海外参加者が沖縄本島の路線バス(琉球バス交通、沖縄バス、那覇バス、東陽バス)を無料で乗車することができた。

海外参加者観光施設利用の優遇措置一覧 期間：平成23年10月6日(木)～10月19日(水)

1. 無料

	施設名	所在地	電話番号	一般料金	海外参加者料金
1	史跡今帰仁城跡	今帰仁村	0980-56-4400	大人 400円 小中高生 300円	無料
2	読谷村立歴史民俗資料館	読谷村	098-958-3141	大人 200円 小中高生 50円	無料
3	沖縄こどもの国	沖縄市	098-933-4190	大人 500円 中高生 200円 4歳～小学生 100円	無料
4	中城城跡公園	北中城村	098-935-5719	大人 400円 中高生 300円 小学生以下 200円	無料
5	玉陵	那覇市	098-885-2861	大人 300円 小人 150円	無料
6	識名園	那覇市	098-855-5936	大人 400円 小人 200円	無料
7	沖縄県平和祈念資料館	糸満市	098-997-3844	大人 300円 小人 150円	無料
8	バラビドー観光農園	石垣島	0980-82-7908	大人 200円	無料
9	星空観測タワー	西表島	0980-85-8112	大人 300円 小人 150円	無料

10	琉宮城蝶々園	本部町	0980-48-3456	大人(高校生以上) 400円 小人(3才~中学生) 200円	無 料
11	那覇市立壺屋焼物博物館	那覇市	098-862-3761	一般 315円 高大生 210円 中学生以下 105円	無 料
12	沖縄平和祈念堂	糸満市	098-997-3011	大人 450円 中高生 350円	無 料
13	八重山鍾乳洞自然村	石垣島	0980-83-6868	大人 1,000円 小人 625円 幼児 250円	無 料
14	那覇市歴史博物館	那覇市	098-869-5266	一般 300円 高大生 200円 中学生以下 100円	無 料
15	宮古島市熱帯植物園	宮古島	0980-76-3184	※従来より無料	
16	オリオンビール工場	名護市	0980-52-2137	※従来より工場見学と試飲は無料	
17	福州園	那覇市	098-869-5384	※従来より無料	

2. 割引

	施設名	所在地	電話番号	一般料金	海外参加者料金
1	琉球村	恩納村	098-965-1234	大人 840円 中人 730円 小人 420円	大人 420円 中人 365円 ※大学・専門・高校生学生証提示 小人※3歳から中学生 210円 ※同行者も対象
2	体験王国むら咲むら	読谷村	098-958-1111	大人 500円 中高生 400円 小学生 300円	大人 250円 中高生 200円 小学生 150円
3	ウエストマリン (ディナークルーズ モビーディック号)	那覇市	098-866-0489	大型水中観光船オルカ号 大人(13歳以上) 3,000円 小人(6~12歳) 1,500円	大型水中観光船オルカ号 大人(13歳以上) 1,500円 小人(6~12歳) 750円
4	大石林山	国頭村	0980-41-8111	大人 800円 小人 500円	大人400円 小人250円
5	ネオパークオキナワ	名護市	0980-52-6348	大人 630円 中人(中・高校生) 315円 小人(4歳~小学生) 210円	入園料 10%OFF
6	ブセナリゾート 「海中展望台」	名護市	0980-52-3379	大人セット 2,000円 中人(高・大生)セット 1,600円 小人(中学生以下)セット 1,000円 ※セット内容(展望塔、ボート)	施設観覧料 50%OFF 大人セット 1,000円 中人(高・大生)セット 800円 小人(中学生以下)セット 500円 ※セット内容(展望塔、ボート)
7	那覇市ぶんかテンプス館 (芸能公演)	那覇市	098-868-7810	大人 1,260円 中高生 1,050円 小人 630円	大人 600円 中高生 500円 小人 300円 (注)毎週木曜日開演 ※公演時間は要問合せ

8	旧海軍司令部壕	豊見城市	098-850-4055	大人 420円 小人 210円	大人 300円 小人 100円
9	文化王国玉泉洞おきなわ ワールド	南城市	098-949-7421	フリーパス券 大人 1,600円 小人 800円 玉泉洞王国村券 大人 1,200円 小人 600円	フリーパス券 大人 800円 小人 400円 玉泉洞王国村券 大人 600円 小人 300円
10	知念海洋レジャーセンター	南城市	098-948-3355	ガラスポートAコース(25分) 大人 1,400円 小人 1,000円 コマカ無人島送迎 大人 2,500円 小人 2,000円	ガラスポートAコース(25分) 大人 1,000円 小人 500円 コマカ無人島送迎 大人 2,000円 小人 1,000円
11	みやこパラダイス	宮古島	0980-76-6070	入場料 大人 500円 小人 200円	入場料 大人 250円 小人 100円 ※ご来店の皆様にご塩 10gをもらえなくプレゼント
12	石垣島鍾乳洞	石垣島	0980-83-1550	大人 1,000円 小人 525円	大人 500円 小人 300円
13	海の駅 あやはし館	うるま市	098-978-8830	うちな~バイキング 大人 990円 小人 620円	うちな~バイキング 大人 890円 小人 520円
14	ナゴパイナップルパーク	名護市	0980-53-3659	大人 600円 小人 300円	大人 300円 小人 150円
15	伊豆味パイン園	本部町	0980-47-3601	ハブとマングースショー 大人 300円 小人 100円	ハブとマングースショー 大人 200円 小人 50円
16	うえのドイツ文化村	宮古島	0980-76-3771	博愛記念館・キンダー ハウス共通券 大人 800円 小人 400円	博愛記念館・キンダー ハウス共通券 大人 700円 小人 350円
17	石垣やいま村	石垣島	0980-82-8798	入村料 大人 840円 小人 420円	入村料 大人 420円 小人 210円
18	伊原間鍾乳洞・サビチ洞	石垣島	0980-89-2121	大人 700円 小人 350円	大人 500円 小人 150円
19	沖縄美ら海水族館	本部町	0980-48-2741	大人 1,800円 高校生 1,200円 小・中学生 600円	大人 700円 高校生 480円 小・中学生 240円
20	首里城公園	那覇市	098-886-2020	大人 800円 高校生 600円 小・中学生 300円	大人 300円 高校生 240円 小・中学生 120円
21	西表島温泉	西表島	0980-85-5900	入浴料 大人 1,500円 小人 750円	入浴料 大人 800円 小人 400円

3. 無料及び割引

	施設名	所在地	電話番号	一般料金	海外参加者料金
1	金武鍾乳洞古酒堂	金武町	098-968-8581	大人 400円 小人 200円	大人 200円 小人 無料
2	島村屋観光公園	伊江島	0980-49-2422	大人 400円 小中高生 300円	大人 100円 小中高生 無料
3	OKINAWAフルーツランド	名護市	0980-52-1568	大人(高校生以上) 800円 小人(4歳以上~中学生) 400円 4歳未満 無料	大人(高校生以上) 400円 小人(4歳以上~中学生) 200円 4歳未満 無料
4	OKINAWAゴーヤパーク	名護市	0120-0831-58	入場無料	お買い上げ金額より自社商品(ゴーヤ茶)10%割引
5	沖縄県立博物館・美術館	那覇市	098-941-1321	博物館常設展 一般 400円 高大生 250円 美術館コレクション展 一般 300円 高大生 200円	博物館常設展 無料 美術館コレクション展 無料 ※海外参加者の付き添いは下記団体割引料金 博物館常設展 一般 320円 高大生 200円 美術館コレクション展 一般 240円 高大生 160円

5 出演者団体協力体制

世界のウチナーンチュ大会を全県的事業として位置づけ、大会に出演する個人、団体を含めた関係者から出演料の低減等、幅広い支援を頂いた。

6 ボランティア活動

(1) ボランティアの募集

大会実行委員会事務局では大会参加者を温かく出迎え、全県的に大会を盛り上げていくため、下記のとおりボランティアを募集した。

- ① **募集期間** 平成23年7月4日～9月16日
- ② **募集人員** ボランティア700名
- ③ **参加資格** 18歳以上の方で大会とボランティア活動に関心・意欲がある方学校、サークル等の団体も可
- ④ **活動内容** 海外参加者のワッペン及びお土産準備作業、大会期間中各イベントにおける補助(受付、会場整理等)
- ⑤ **募集方法** 大会ホームページ、新聞、ラジオ等を通じて募集した。

(2) ボランティアの参加状況

募集開始前からボランティアに関する問い合わせがあるなど、大会への関心の高さが伺えたが、スペイン語、ポルトガル語の通訳ボランティアが不足していたことから、募集期間を延長したほか、県内の大学や専門学校、各市町村、国際交流団体に周知及び協力依頼を行った結果、最終的には約600名の応募があった。

(3) ボランティアへの対応

- ① 大会前に行ったワッペン及びお土産準備作業のボランティアに関しては、弁当代を含めた交通費(一律800円)を支給し、大会期間中におけるイベント補助のボランティアに関しては、交通費(一律800円)の他、業務時間帯に応じて弁当代を支給した。
- ② ボランティア全員にベストと帽子を着用してもらい、一目でボランティアとわかるよう参加者への便宜を図った。(一般ボランティア:黄色、英語:青、スペイン語:赤、ポルトガル語:緑)

(4) 総括

今大会も前大会同様、多くの方からボランティアの応募をいただいた。その応募動機を見ると、親戚等が参加するから、世界の方々と交流を深め、沖縄のために役立ちたい、語学力を高めたい、留学や旅先でお世話になった方達への恩返しなど、国際交流への関心が高く、ホスピタリティ精神にあふれるコメントが数多く見られた。また、前大会のボランティア経験者や、ウチナーンチュ大会がきっかけで始まったジュニアスタ

ディーツアー経験者の応募も見られるなど、多くのボランティアの協力により、円滑に大会を運営することができた。

7 共催・後援事業

機運の醸成を図り、海外参加者と県民との活発な相互交流を実現させるという観点から、各種団体が開催する大会関連の事業について共催または後援を行い、関係者の幅広い参画を得た。

■第5回世界のウチナーンチュ大会実行委員会共催事業

	行事名	主催	日時	場所	内容
1	第6回 やる気・元気旗頭フェスタ in なは ~2011 那覇“子”綱挽~	那覇市教育委員会	H23.10.16(日) 9:00~12:00	沖縄セルラースタジアム那覇	(1) 旗頭活動に関わる生徒が相互に交流しあい、友情を深めながら「生徒の居場所づくり」を積極的に進める。 (2) イベントに参加する生徒(スタッフ・応援・見学者も含む)が地域社会へ積極的に関わっていく態度を育てる。 (3) 旗頭活動に関わる生徒への理解と支援を呼びかけるとともに、社会的規範意識やルール指導、地域の先輩方への敬愛の念を育み、新しい時代の活力に満ちた地域社会に積極的に貢献できる子どもの育成を目指す。

■第5回世界のウチナーンチュ大会実行委員会後援事業

	行事名	主催	日時	場所	内容
1	ハイサイ!レキオス2011 ちむドン×2! フェスタ in ちむら	ちむドン×2! フェスタ実行委員会	H23.3.19(土) ~3.20(日)	読谷村「体験王国 ちむら」	平田大一氏プロデュース「REQUIOSレキオス」公演を目玉とした各種プログラムにより沖縄の歴史・文化を体感し、県内在住外国人等と「いちゃりばちよーでー精神」で異文化交流するイベントを行う。
2	おきなわデー2011	イギリス沖縄県人会	H23.6.25(土) 11:00~19:00	ロンドン市・スピタルフィールズマーケット内	おきなわデー2011において、英国内で沖縄を多角的なアングルから紹介していくこと印より、沖縄と英国の文化・芸術交流の発展を促進し、両国の文化的なハブを創造することを目的としている。

3	南城市5周年記念事業 5大陸サウンドシリーズ 『大城クラウディア 東四間切交流コンサート』	南城市、南城市文化のまちづくり実行委員会	H23.9.25(日) 17:00～	南城市文化センター シュガーホール	日系2世である大城クラウディアさんを招いて、南城市出身の演奏家と共演してもらい、交流を深めていただくとともに移民について学ぶきっかけをつくる。
4	第22回沖縄市国際交流フェスティバル 「WELCOME! 世界のウチナーンチュ」	沖縄市国際交流会	H23.9.25(日) 11:00～19:00	プラザハウス ショッピングセンター 2F イベント広場	情報化、国際化に対応できる市民の資質向上に努め、国際的風土音形成を図り、10月のウチナーンチュ大会に向け、市民が海外ウチナーンチュをより深く知るプログラムを展開する。
5	肝心(チムグケル)がつなぐブラジルと沖縄	沖縄ブラジル協会、JICA沖縄国際センター	H23.10.7(金) 18:30～20:30	うるま市健康福祉センター 「うるみん」	第5回世界のウチナーンチュ大会開催にあわせ、在ブラジル沖縄県人会長の与那嶺氏を招き、参加者が沖縄文化の価値を再認識する場を設ける。 日系シニア海外ボランティア及び現職教員による活動報告を通じ、県民の青年海外協力隊への参加促進と国際理解教育の推進を図る。
6	沖縄・ニューカレドニア空手文化交流事業	沖縄ニューカレドニア友好協会	H23.10.8(土)～10.9(日)	H23.10.8(土) 名護市国際交流会館 H23.10.9(日) 名護市中学校体育館	10月に行われる「第5回世界のウチナーンチュ大会」にニューカレドニアから50人が参加することを機に、ニューカレドニアと縁の深い名護市において、沖縄の伝統である「空手」を通じた交流事業を行う。
7	ハワイアンフラ ルアウ IN CHATAN	北谷町商工会	H23.10.8(土) 17:00～20:30	北谷町サンセットビーチ	北谷町商工会では、ハワイアンフラを中心とした観光開発、特産品開発等により「ハワイアンフラのまち北谷町」をブランド化し、新たなビジネス構築を目指しており、今回のイベントも北谷町ハワイ化計画の一環である。 ウチナーンチュ大会には多くのハワイ出身者が訪れるため、これを機会に文化交流を図りたいと考えている。
8	ペルー移民展	西原町、西原町教育委員会	H23.10.9(日)～10.16(日)	サンエー西原シティ(3階、4階)	「世界のニシハランチュの集い」と連携して、移民先の一つであるペルーでの功績や暮らしぶり等を周知することを目的としている。
9	第7回「沖芸連の日」公演 琉球弧の音～そのひろがり	沖縄県芸能関連協議会	H23.10.10(月) 14:00～16:00	国立劇場おきなわ	芸能の価値を広く多くの人々に知らせ、後進の育成にも寄与する。今回は海外から参集する沖縄県系の人々にも鑑賞していただく。

10	第5回世界のニシハランチュの集い	西原町、西原町教育委員会	H23.10.14(金) 16:00～21:00	西原町内及びエリスリーナ西原	世界各地に在住する県系人が5年に1度母県に集う「世界のウチナーンチュ大会」と連携して、国境を越えて絆や友情を育むことを目的に開催する。
11	アミークスツアー	沖縄アミークスインターナショナル	H23.10.14(金)	沖縄アミークスインターナショナル	世界のウチナーンチュ大会への参加者の方に本校を案内し、若いウチナーンチュ世代を受け入れる国際的な教育環境が沖縄にできたことを紹介し、教育における万国津梁への機会にしたい。 また、当学校の子ども達が「世界のウチナーンチュ」との交流を通して国際的な理解を図り、世界に向けた新たな飛躍の夢を形成できることを期待している。
12	うちな島歌踊り健康づくり友好祭	沖縄県民踊研究会	H23.10.17(月) 10:00～17:00	那覇市民体育館	長寿県沖縄の健康づくり、生きがいづくり、人の和づくりである民踊活動の現場を、来県されるウチナーンチュの方にご覧いただく。県内の国際交流団体をととして、ウチナーンチュ大会参加者への告知を行う予定。

8 市町村イベント

各市町村において、大会期間中もしくは大会期間前後に様々な独自イベントが実施された。(114～121頁参照)

9 各種団体の取り組み

県内各国際交流団体においても大会期間中もしくは大会期間前後に様々な取り組みがなされた。(122～125頁参照)

表2 第5回世界のウチナンチュ大会市町村イベント

番号	市町村名	担当	連絡先	事業実施	事業の名称	期日	場所
1	那覇市	総務部平和交流男女参画課	TEL098-861-5195 FAX098-861-4092	有	①ふるさとナーファ巡りバスツアー ②いちゃりばチャョーデー交流パーティー ③海外参加者の博物館への無料入館 (1) 歴史博物館企画展琉球国王尚家の人々 (2) 壺屋焼物博物館常設展	①10月14日(金) 8:00(集合)~17:00 ②10月14日(金) 18:30~20:30 ③10月1日(土)~10月19日(水)	①那覇市内 ②ロワジールホテル那覇3階天妃の間 ③(1)パレットくもじ 4F (2)壺屋やちむん通り
2	宜野湾市	企画部企画政策課	TEL098-893-4411 FAX098-892-7022	有	世界のジノーンチュ歓迎の夕べ	10月14日(金) 18:00~20:30	J A 沖縄ジュビランス
3	石垣市	企画部秘書広報課	TEL0980-82-1243 FAX0980-83-1427	有	おーったねーらー第5回世界のウチナンチュ大会 in いしがき ①まりずいま島内観光 ②にーふあいゆ交流懇親会	10月18日(火) ①10:00~17:00 ②18:00~20:00	①市役所(集合)~島内 ②南の美ら花ホテルミヤヒラ
4	浦添市	企画部国際交流課	TEL098-876-1234 FAX098-879-7224	有	①世界のウラシナンチュ歓迎会 I うらそえ視察 II 世界のウラシナンチュ歓迎の夕べ ②浦添市南米移住者子弟研修生 フォローアップ研修	①10月15日(土) 10:00~19:00 ②10月10日(月)~10月17日(日)	①-I 浦添市内(市役所出発) ①-II 浦添市てだこホール「市民交流室」 ②浦添市役所
5	名護市	①②総務課 ③④⑤教育委員会文化課・名護博物館	TEL0980-53-1212 FAX0980-53-6210	有	①市内観光 ②世界のナグンチュ歓迎会 ③特別展「名護の移民展」 ④特別企画展「移民青年画家 宮城與徳の青春」 ⑤特別講演会「名護とブラジル」	①10月14日(金) 9:00~17:00 ②10月14日(金) 18:00~20:30 ③④10月12日(水)~23日(日) ⑤10月14日(金) 15:00~17:00	①市内 ②名護市民会館中ホール ③名護博物館ギャラリー ④ギャラリーみんたま ⑤名護中央公民館小ホール
6	糸満市	秘書企画課	TEL098-840-8118 FAX098-840-8112	有	第5回世界のイチマンチュ歓迎の夕べ	①10月14日(金) 13:00~18:00 ②10月14日(金) 18:00~20:00	①糸満市役所 ②首里天楼別邸
7	沖縄市	経済文化部文化観光課	TEL098-929-0261 FAX098-939-7341	有	第5回世界のウチナンチュ大会 歓迎イベント in 沖縄市	10月14日(金)	沖縄市コザミュージックタウン

事業内容	参加者	参加者の声	備考
①ふるさと那覇を知る、市内周遊バスツアー ②那覇市出身海外移住者を中心とした歓迎交流会 ③(1)沖縄文化の素晴らしさと明治以降の尚家の人々の様子を国宝を中心に展示 (2)沖縄の焼物の歴史、文化の展示及び壺屋の人と街並みを紹介。	①海外 84人 ②海外 238人 地元 125人 ③海外 計182人 (1)海外 96人 (2)海外 86人	・今回初めて参加したが、識名園でのぶくぶく茶体験など沖縄の文化に触れることができ貴重な体験だった ・那覇市の方々からの熱烈的な歓迎が嬉しかった ・言葉は通じなくても交流できるのが楽しい ・余興がすばらしく、沖縄が初めての孫たちも大喜びだった ・沖縄の歴史や文化に対する理解が深まった	①、②については「那覇市国際交流市民の会」と共催。
本市出身者の歓迎レセプション。沖縄の郷土料理や琉球舞踊・エイサー等の余興、海外参加者や各市人会へ記念品の贈呈を実施した。また、会場内で戦前・戦後の宜野湾の写真を展示した。	海外 106人 地元 195人	久々の再会や新たな出会いがあり、とても楽しかったと喜びの声が多数あった。また、世代交代が進み、沖縄とのネットワークを強化するためにも、海外から研修生の受け入れ人数を増やして欲しいとの要望があった。	
市民との交流会及び市内観光	海外 19人 地元 31人	大変貴重な体験をさせてもらった。次回も大いに期待したい。事前の周知等について工夫をお願いしたい。	
①浦添出身海外在住者及び関係者を招待し、市内視察及び歓迎会を実施する。 ②本市研修生を招聘し、親善交流の架け橋として更なる認識を高めるため、フォローアップ研修を実施する。	①海外 70人 地元 200人 ②海外 4人	①「市内観光など、とても丁寧で分かりやすかったです。とても歓迎されて最高です。ウラシナンチュであることを誇りに思います。」 「ヨーロッパなどいろんな国に行っていますが、ウチナンチュの温かさ、親切さが一番です。」 ②「研修生のみながウラシナンチュであることに誇りを持ち、ルーツを知り、アイデンティティを確立することができました。また、ブラジルとペルーの南米子弟研修への展望を一つにできたことがよかったです。」	
①海外参加者を対象に、自らの故郷の地を巡っていただく市内観光 ②名護市出身者を招いた歓迎交流会 ③移民の歴史や海外とのつながりについて、写真や説明文を展示 ④代表する人物の紹介ならびに展示 ⑤名護市系二世を招いての講演会(第一部)と座談会(第二部)	①海外 55人 ②海外 161人 地元 302人 ③ 292人 ⑤ 31人	・20年ぶりに来たので懐かし気持ちだ。親戚に会えたので大変うれしい。 ・やっとふるさとに帰ってきたという気持ちで、今落ち着いている。足りなかった心の一部が埋まったような感じがする。 ・名護に来るのは30年ぶり。依然と変わった名護を友人たちと一日中歩き、誰の家がここにあったなど思い出話をしたり、友人たちとの時間を過ごした。 ・名護博物館で行われている移民展にて、展示されていた写真に母親と姉が移っていたのには驚いた。姉とは1歳違いなので、あの写真のころは母親のおなかに自分がいたかもしれない。	
①市内観光 ②第5回世界のイチマンチュ歓迎の夕べ	海外 124人 地元 246人	・平和の火の前では言葉が出ない、悲しい ・歓迎のもてなしが良かった ・単なる旅行として終わらせずにそれぞれの地域と交流を深めていきたい ・平和の願いを込めて3千羽の折り鶴の寄贈、平和を願います。	
【第1部】世界のウチナンチュふれあい&体験広場(イベント) 【第2部】世界のウチナンチュ歓迎レセプション	海外 169人 地元 135人	・イベントの中で初めて三線を弾くことができ、感動した ・このパーティーで40年ぶりに親戚に会うことができ、とても幸せです ・父の出身地に来ることができて、とてもうれしいです。 ・このイベントをなくさないでください。	

番号	市町村名	担当	連絡先	事業実施	事業の名称	期 日	場 所
8	豊見城市	企画部企画調整課	TEL098-850-0246 FAX098-850-5343	有	第5回世界のトミグスクンチュ歓迎会	10月14日(金) ①10月14日(金) 14:00~16:30 ②10月14日(金) 17:00~17:40 ③10月14日(金) 18:00~20:00	豊見城市立中央公民館 2階 中ホール
9	うるま市	企画部秘書広報課	TEL098-973-5079 FAX098-975-1111	有	世界のうるまんちゅ歓迎会	①10月17日(月) 14:00~18:00 ②10月17日(月) 18:00~20:00	②出雲プライダ ルギャラリーラ ピス
10	宮古島市	観光商工局観光課	TEL0980-73-2690 FAX0980-73-2692	有	宮古島市出身者昼食交流会	10月14日(金) 12:00~14:00	ホテルシティー コート
11	南 城 市	観光・文化振興課	TEL098-949-8817 FAX098-852-6004	有	2011世界のウチナーンチュ大会 in 南城	10月14日(金) 18:30~	南城市立玉城中央公民館
12	国 頭 村	総務課	TEL0980-41-2101 FAX0980-41-5910	有	国頭村出身者歓迎会	10月14日(金)	国頭村民ふれあ いセンター
13	大宜味村	総務課	TEL0980-44-3001 FAX0980-44-3139	有	大宜味村出身者歓迎交流会	10月15日(土)	大宜味村農村環 境改善センター
14	東 村	企画観光課	TEL0980-43-2265 FAX0980-43-2457	有	東村出身海外移住者歓迎会	10月14日(金)	東村農研研修施 設
15	今帰仁村	総務課	TEL0980-56-2101 FAX0980-56-4270	有	世界のナキジンチュ歓迎会	10月14日(金) 16:00~	今帰仁村コミュ ニティセン ター
16	本 部 町	企画政策課	TEL0980-47-2702 FAX0980-47-4576	有	第5回 世界のモトブンチュ大会	10月15日(土)	マリンピアザオ キナワ
17	恩 納 村	総務課	TEL098-966-1200 FAX098-966-2779	有	第5回 世界のウンナンチュ大会	①10月5日(水) ~10月18日(火) ②10月14日(金)	①恩納村役場 ②恩納村ふれあ い体験学習セ ンター
18	宜野座村	企画課	TEL098-968-5100 FAX098-968-5037	有	第5回 世界のギノザンチュの集い	10月15日(土)	宜野座村総合体 育館
19	金 武 町	企画課	TEL098-968-6262 FAX098-968-6270	有	第5回 世界のシマヌチュ大会	①10月8日(土) 11:00~11:30 ②10月8日(土) 13:00~14:30 ③10月8日(土) 10:00~21:00 ④10月9日(日) 9:00~12:00 ⑤10月9日(日) 14:00~16:00 ⑥10月9日(日) 19:40~20:40	①雄飛の森 ②町立中央公民 館大ホール ③金武町営グラ ウンド ④金武町役場発 →町内視察→ 金武町役場着 ⑤町立中央公民 館大ホール ⑥町まつり特設 ステージ

事業内容	参加者	参加者の声	備 考
①市内視察(瀬長島、豊崎タウン、忠孝酒造見学等) ②お茶会(ぶくぶく茶) ③歓迎会	海外 39人 地元 200人	市内視察で発展した豊見城を見ることができてよかった。ふるさとの変わりようにおどろいた。懐かしい顔に会えてとても嬉しい。また5年後に今回甕に詰めた泡盛を飲むのが楽しみ。ふるさとの盛大な歓迎に感動した。企画した皆さんにお礼を言いたい。次年度から海外移住者子弟研修生の受け入れが開始されるということで嬉しく思う。	
①市内視察 ②歓迎会	海外 261人 地元 231人	・市内視察では、郷土の発展した様子を見ることができた。 ・盛大に歓迎会を開いて頂き、とても感謝しています。	
交流会	海外 6名 地元 21名	・次回も参加したい。 ・数十年ぶりに友人に会えて感激した。	
歓迎・交流のゆうべ	海外 115人 地元 179人	・ウチナーンチュ大会を機会に同窓会を開催した。50年ぶりに中学校の同窓生と会えて、大変感慨深い。 ・次回も必ず参加します。	
村内観光、記念植樹、村民との交流会	北米 15人 南米 27人 村民 150人	・北米から参加したが、イベントを知らなかったの で、びっくりした。 ・5年後もまた、参加したい。 ・沖縄からも南米まで来てほしい。	
村内及び郷友会で海外からの村出身者を招いて郷土芸能や郷土料理で歓迎し記念品を贈呈した。後日記念写真を海外へ送付。	海外 25人 地元 120人	「移住した人を忘れずに歓迎してくれてとってもうれしい。次は孫と一緒に来ます」	
村内観光及び交流会	海外 10人 地元 67人	移住後、初めて東村に戻られた方より村の視察を通し当時から変貌したことで挨拶のなかで涙する方もいた。	
村民との交流会	海外 57人 県外 1人 地元 160人	・数十年ぶり同級生にあえた。 ・次回も参加したい。 ・子どもたちの踊りがすばらしかった。	
町民との交流会	海外 93名 県外 3名 県内 182名	長年ぶりに家族や友人に会えて、地元の方の温かい歓迎に大変感激しました。こういう機会を設けていただいたことに感謝します。またの機会を楽しみにしています。	
①移民に関するパネル展 ②村内視察・記念植樹・歓迎交流会	海外 43人 地元 133人	大会の開催で親戚、友人らとの再会を海外からの参加者、親戚、関係者ともに喜んでいました。	
村内めぐり及び交流会	海外 87名 地元 370名	・3世・4世の時代なる今後、繋がりを継続していくためにも、受け入れ事業やウチナーンチュ大会を続けて欲しい。 ・研修で一緒だった友人や宜野座村の友人に再会し交流できて感動した。	
①當山久三翁顕彰式 ②世界のシマヌチュ歓迎式 ③金武町まつり ④町内視察 ⑤沖縄移民の父「當山久三ロマン」公演 ⑥ムスナイナイ大会	海外 50人余 金武町民他	・ムスナイナイ大会では皆で踊ることができて楽しかった。 ・シマヌチュ大会は、地元の人達、親戚の人達と交流する機会がたくさんあって、嬉しかった。そして、たくさんの人から歓迎されて嬉しかったし、感動した。 ・普段食べれない南米料理が食べれてよかった、美味しかった。 ・また5年後が楽しみ、参加したい!!	

番号	市町村名	担当	連絡先	事業実施	事業の名称	期 日	場 所
19	金武町	企画課	TEL098-968-6262 FAX098-968-6270	有	第5回 世界のシマヌチュ大会	⑦10月9日(日) 9:00~21:00 ⑧10月8日(土)・ 9日(日) 16:30~18:00 ⑨10月11日(火)	⑦金武町営グラ ウンド ⑧町まつり会場 内テナント ⑨金武町役場前 出発→本島 中・南部視察 →金武町役場 着
20	伊江村	総務課	TEL0980-49-2001 FAX0980-49-2003	有	世界のイージマンチュ交流 会	10月13日(土)	那覇市内(沖縄 ポートホテル)
21	読谷村	総務企画部 企画財政課	TEL098-982-9205 FAX098-982-9202	有	世界のユンタンザンチュ歓 迎レセプション	10月14日(金) 18:00~20:30	読谷村文化セン ター
22	嘉手納町	総務部企画財政 課	TEL098-956-1111 FAX098-956-9508	有	世界のカデナーンチュ大会	10月14日(金)	嘉手納町中央公 民館
23	北谷町	企画財政課	TEL098-936-1234 FAX098-936-7474	有	世界のチャタンチュ歓迎事 業	①10月15日(土) 14:00~17:30 ②10月15日(土) 18:00~20:30	①北谷町内 ②ニライ センター カナイホール
24	北中城村	総務課文書管理 係	TEL098-935-2233 FAX098-935-3488	有	世界のキタナカグスクン チュ歓迎会	10月14日(金) 18:30~	北中城村中央公 民館
25	中城村	企画課	TEL098-895-2131 FAX098-895-3048	有	世界のウチナーンチュ大 会・中城人交流会	①10月14日(金) 14:00~ ②10月14日(金) 18:00~	①村内視察 ②吉の浦会館
26	西原町	教育委員会教育 部 生涯学習課 生涯学習振興係	TEL098-945-5036 FAX098-945-6770	有	第5回 世界のニシハラン チュの集い	①10月14日(金) 16:00~ ②10月14日(金) 19:00~	①町内 ②エリスリーナ 西原
27	与那原町	企画財政課	TEL098-945-5323 FAX098-946-6074	有	第5回 世界のウチナーン チュ大会 「ユナバルンチュ歓迎の集 い」	10月15日(土) 16:00~	与那原町社会福 祉センター
28	南風原町	南風原文化セン ター	TEL098-889-7399 FAX098-889-0529	有	①「世界の南風原人展」 ②第59回 企画展「海を渡つ たウチナーンチュ」 嘉納達彦写真展 ③世界の南風原人歓迎会	①10月8日(土) ~10月16日(日) ②10月8日(土) ~10月16日(日) ③10月16日(日) 18:30~	南風原文化セン ター
29	渡嘉敷村	総務課	TEL098-987-2321 FAX098-987-2560	無			
30	座間味村	総務課	TEL098-987-2311 FAX098-987-2004	無			

事業内容	参加者	参加者の声	備考
⑦金武町まつり ⑧南米料理フェア ⑨沖縄本島観光			
交流会	海外 17名 県外 5名 県内 32名	どこの国であろうと礎を築くのは時間がかかる。(旧交を深め)帰ってまた頑張ろうという気持ちももらえた。	
読谷村出身者との交流会	海外 103人 地元 403人	・5年ぶりの再会が嬉しかった。 ・生まれて初めて先祖のお墓を巡ることができ、大変よかった。 ・いとこの友人と偶然お話することができた。ウチナーンチュは世界中でつながっている、どこにいてもうちなんちゅの心を忘れないんだな、と実感した。	
町内観光及び歓迎会	海外 64人 地元 415人	・親戚と感動の出会いをすることができた ・カデナーンチュ(地元)の温かさにふれることができて良かった。	
①町内視察 ②町民との交流会	①海外 13人 ②海外 約50人 地元 約100人	十分に楽しみ、大きな感動と沖縄のチムグクルに接する事ができました。特に、北谷町歓迎レセプションでが思いもよらぬ歓待を受け、身に余る光栄に感激しました。このイベントを企画構成してくれました皆様に感謝致します。	
海外の北中城村出身者との交流会	海外 102人 地元 222人	このような盛大な会を開いてくれてありがとうございます。毎回、沖縄へ帰ってきたいです。	
村内視察及び歓迎会	海外 120人 地元 161人	村民の皆様の歓迎に感動した。 伝統芸能も素晴らしかった。次回も参加したい。	
①町内施設等案内 ②歓迎レセプション	①海外 30人 地元 8人 ②海外 104名 地元 161名	素晴らしい	
与那原町関係者の歓迎交流会	海外 42人 地元 200人	・盛大に歓迎してもらい、感激した。 ・ユナバルンチュ出身が世界中から集まる事ができて感動した。 ・自分のルーツである与那原を訪問できて嬉しい。 ・地元の小学生のエイサーや子ども達の島唄が良かった。	
①これまで海移住者子弟研修生受入制度に参加した研修生らの写真と、研修の様子などの資料や写真で紹介。 ②南米の沖縄移民の表情を嘉納辰彦氏が現地でもとらえた写真を展示。 ③WUFに参加したみなさんを歓迎し交流を深めた。	①②海外 60人 地元 200人 ③海外 23人 地元 90人	こういうイベントをきっかけに、南風原町と移民先のつながりを確認できる。研修生たちが、研修後も繋がっていることを確認しながら、南風原町からも青年を移民先へ研修生として派遣する制度を作ってほしい。町人会の高齢化も考慮し、双方の次世代交流を考えるべき。	

番号	市町村名	担 当	連 絡 先	事業実施	事業の名称	期 日	場 所
31	粟 国 村	総務課	TEL098-988-2016 FAX098-988-2206	無			
32	渡名喜村	総務課	TEL098-989-2002 FAX098-989-2197	無			
33	南大東村	総務課	TEL09802-2-2001 FAX09802-2-2669	無			
34	北大東村	総務課	TEL09802-3-4001 FAX09802-3-4406	無			
35	伊平屋村	総務課	TEL0980-46-2177 FAX0980-46-2091	無			
36	伊是名村	観光振興課	TEL0980-45-2534 FAX0980-45-2823	無			
37	久米島町	総務課	TEL098-985-7121 FAX098-985-7080	有	第5回 世界のウチナーンチュ大会久米島関係者の集い	10月14日(金) 18:30~	沖縄ポートホテル
38	八重瀬町	企画財政課	TEL098-998-2344 FAX098-998-4745	有	八重瀬町出身者の歓迎の夕べ	10月14日(金) 18:00~	八重瀬町中央公民館(大ホール)
39	多良間村		TEL098-079-2260 FAX098-079-2664	無			
40	竹 富 町	企画財政課	TEL0980-82-6191 FAX0980-82-6199	無			
41	与那国町	総務財政課	TEL0980-87-2241 FAX0980-87-2079	無			

事業内容	参加者	参加者の声	備 考
			当初は10月15日に歓迎会を予定していたが、参加者の来島日程が合わなかったため開催を見送った。
久米島出身者及び関係者との交流会	海外 22名 地元 81名	「多くの方と交流がもてて良かった」「久米島で開催できるとよい」	
町内観光及び伝統芸能の披露、町民との交流会	海外 63名 地元 180名	「第6回で会いましょう。」等次回への期待を持った発言が多く見られた。	事務局からのリストに記載されていない人物が参加者の半数を占めた。特にブラジルからの参加者が予定の3倍を超えた。

表3 各種団体の取り組み

国際交流団体	イベント名称	実施日	場 所	出 席 者	イベントの内容	招待者／参加者の声
1 浦添市国際交流協会	沖縄県国際交流員に学ぶ「世界のウチナーンチュ」	6月29日(※) 19時～21時	浦添市立中央公民館分館（浦添市牧港3-40-6）	18名	①講師である県 CIR 穂積直美さんの出身国、ペルールの紹介 ①南米移民 ③「世界のウチナーンチュ大会」の広報	ペルールの食生活や習慣についてクイズ形式で楽しく学ぶことができました。 沖縄の伝統がペルールの移民に受け継がれていることを知り感動しました。 先生とスペイン語で会話できたことが楽しかった。
2 沖縄アルゼンチン友好協会	アルゼンチン交流の夕べ	10月17日(月)	那覇セントラルホテル	170人	本会および在アルゼンチン沖縄県人連合会の共催で行った。アルゼンチンからの来沖者50人、本会の会員および関係者80人、招待者20人、ボランティア（沖縄尚学高校生徒）20人が参加。移住100周年記念事業高経寄附者への感謝状贈呈、招待者あいさつ、懇親などを通したアルゼンチン関係者の交流のひと時を持った。	極めて好評をいただいた。「規模、内容、プログラムのすべてがよかった」という声が圧倒的。このような交流の機会もウチナーンチュ大会というすばらしいイベントが開催されたからのもの。今後にも継続して欲しい」という声も多数聞かれた。
3 沖縄カナダ協会	沖縄での元気（貸し切りバス） カナダ・沖縄交流の夕べ“ウェルカム・パーティー”	10月8日、10日～14日、17日、18日 10月10日、11日、17日 10月10日	平和祈念堂 摩文仁の丘 平和の礎 米須まるごと生活博物館 小さな現代美術館 真栄平門中臺 北部中部南部 那覇セントラルホテル	43名 45名 25名 ほかガイド1名 160名 (招待者90名、地元70名)	沖縄の平和を願う心について共生の心をカナダに伝って次の世代につないでほしい 観光地、産業、基地周辺、博物館を回って見て、沖縄の環境の現実を知り、昔と今のギャップ 沖縄カナダ協会・カナダ4県人会と地元との交流会	<ul style="list-style-type: none"> 平和祈念公園はとても静かで平和を感じさせる場所だった。 大切なことはみんなが幸せになることで、今の幸せを改めて実感した。 世界のウチナーンチュ大会があるおかげで、5協会の会議が5年に一度できる。 すばらしい交流会に感激した。
4 (財)沖縄観光コンベンションビューロー ①沖縄ハワイ協会の連携	①ハワイ州知事歓迎意見交換会	平成23年 10月14日(土)	かりゆしアワーバンリゾート那覇	ハワイ：7名 地元：14名	ハワイ、沖縄県の観光を取り巻く現状、課題などについて広く意見交換会を実施。	地元の声：ハワイの観光を取り巻く課題を聞くことにより、今後の沖縄が目指すべき観光振興について参考になった。また、よい点は取り入れていきたい。

国際交流団体	イベント名称	実施日	場 所	出 席 者	イベントの内容	招待者／参加者の声
4 (②)ウチナーンチュ大会事務局との連携	②空港歓迎式	10月6日(※) ～12日(※)	那覇空港国内線、国際線	O C V B 職員 71名	海外からの大会参加者を那覇空港国内線、国際線の到着ロビーにて歓迎のお出迎え。	<ul style="list-style-type: none"> 実施期間中、各国の県人会関係者も出迎えに来ていたが、横断幕を広げ、拍手で迎えるなど盛り上げていただいたことに感謝の言葉をいただきました。 皆さんの笑顔が印象的、やっつよかったです。
5 沖縄ファイリピン協会	ファイリピン県人会歓迎パーティー	10月19日(※)、20日(※) 10月10日	那覇空港国際線 東京第一ホテル	O C V B 職員 19名 40名	ハワイからの大会参加者のお見送り 県人会員（20名）を歓迎する夕食会と交流会	<ul style="list-style-type: none"> 迎える時だけではなく、帰りもしっかりと見送ることも重要であると感じた。
6 沖縄ブラジル協会	ブラジル沖縄県人会歓迎懇親会	10月15日(土) 午後6時～	沖縄県青年会館	60名 ブラジル20名 地元40名	<ul style="list-style-type: none"> ブラジル県人会の紹介・挨拶 歓迎余興 交流会 	<ul style="list-style-type: none"> 久しぶりの再会に感動した。 肝心(ナムグルク)交流ができた。 大会参加してよかった
7 沖縄ペルー協会	ペルー独立記念チャリティゴルフ ペルー県人会役員一行歓迎会	7月20日 10月18日	喜瀬カントリー 金秀レストランマリーエ	250名 (地元のみ) 県人会20名 地元招待10名 その他30名	ペルー沖縄県人会の子弟6人へ奨学金を贈呈した。 県人会創立百周年の記念品贈呈	<ul style="list-style-type: none"> 移住105年、県人会創立100年、ウチナーンチュ大会の成功を祝賀ムードで次の開催に期待。 移住105年、県人会創立100年、ウチナーンチュ大会の成功を祝賀ムードで次の開催に期待。
8 沖縄ポリビア協会	第5回世界のウチナーンチュ大会ポリビア参加者歓迎会	10月11日(土) 6～9時	JICA ニライホール	64名	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶 琉球舞踊 音楽演奏 	
9 (社)ガールスカウト日本連盟沖縄県支部	前夜祭	10月12日	国際通り	スカウト19名 リーダー7名	プラカード持ち	この大きな大会に関われて嬉しかった。1人で行進するのが心配だったが、外国から来たウチナーンチュの皆さんにとっても優しくしてもらった。一緒に写真を撮ってくれて、後日送ってくれた。世界で活躍しているウチナーンチュのパワーはすごかった。

国際交流団体	イベント名称	実施日	場 所	出 席 者	イベントの内容	招待者／参加者の声
	開会式	10月13日	沖縄セルラースタジアム那覇	スカウト 17名 リーダー 3名	旗手	旗に寄せる思いを大事にしようと、精一杯頑張った。何度も訓練を重ねた甲斐あって、本番はすばらしかったと褒められた。私の誇りです！今後もウチナーンチュウ大会に関わって行きたいと思いました。
10	世界ウチナーンチュウ大会 開会式各国国旗手奉仕隊	10月13日(金)	沖縄セルラースタジアム那覇	ボーイスカウト 17名 ガールスカウト 17名	開会式における参加国の国旗旗手	<ul style="list-style-type: none"> 生涯の思い出となった ボーイスカウト活動をやっていてよかった
11	大会メインステージでの三線演奏	10月15日(土)	沖縄セルラースタジアム那覇 メインステージ	今年度研修生 17名 研修生OB 5名	三線演奏（ていんささぐの花、安波節、安里屋ユンタ、島人ぬ宝、涙そうそう）	当日は大雨で大変でした。見ている人も少なかつたですが、ウチナーンチュウ大会のステージで三線を弾くことが出来てとてもいい経験になりました。またいい思い出が出来ました。
12	アメリカ協会 代表歓迎レセプション	10月15日(土)	ホテルロイヤルオリオン	70名程度	歓迎レセプション	みなさん喜ばれていた。
13	沖縄エジプト友好協会 最近のエジプトをめぐる講演会	7月30日(土)	沖縄国際大学	35名程度	エジプト並びに最近の中東情勢について理解を深める。	「エジプト革命」の後だけに、高い関心を示していた。
14	沖縄タイ友好協会 前夜祭パレード慰労会 タイ沖縄県人会歓迎懇談会	10月12日(水) 10月15日(土)	「プリッタ・タイ」 久米在 旬魚酒菜「回」 おももち店	タイ人 17名 地元 7名 タイ人 7名 招待者 4名 地元 25名	慰労会・交流会 交流会 現地での活動報告 タイ人留学生（琉大）との交流	大雨でぬれたけど、とても充実した一日でした。

国際交流団体	イベント名称	実施日	場 所	出 席 者	イベントの内容	招待者／参加者の声
15	ハワイ沖縄フェスティバル	9月3日(土) 4日(日)	ホノルルカピオラニ公園（ハワイ）	現地（ハワイ） 5万人 沖縄：90人	フラのレイナニグループ40人、民舞25人、民謡グループ4人がフェスティバルに参加。高山会長、出演グループ代表が会場ステージ及びKZOOラジオ生放送現場から、ウチナーンチュウ大会への参加を呼びかけた。	ハワイ・沖縄両サイドの参加者が交流を深め、ウチナーンチュウ大会への関心を大きく高めた。結果的にハワイから1100人余が乗沖、大会に参加し、盛り上げた。
	ハワイ州知事基調講演会			300人	ハワイ州知事ニール・アバクロンビー氏に沖縄への熱い思いを語っていただいた。同氏は国会議員時代に来県し沖縄の多くの方々と語り、沖縄への思いが強い。	アバクロンビー知事はハワイと沖縄の類似性、相互の交流の重要性、将来展望について情熱的に語られた。聴衆は深い感動を覚え、多くの質疑が交わされ、講演会は熱気に溢れ大変盛況であった。
	ハワイ州知事、ハワイ沖縄連合会役員歓迎会	10月15日(土)	パシフィックホテル 沖縄	450人	ハワイ州知事、ハワイ沖縄連合会役員、各市町村クラブ役員60人を招き歓迎、交流会を開催。フラダンス、民舞で盛大に盛り上げた。	歓迎会には沖縄ハワイ協会会員、各分野のリーダーの方々が参加し、ハワイ・沖縄の交流を大いに推進した。 ハワイ州知事から、フラ2団体（レイナニグループ、ハウラフラカラカウア）に感謝状が贈られた。ハワイの文化フラ普及への功績。